CentreCOM[•] WR211PCM plus

ユーザーマニュアル

©2000 アライドテレシス株式会社

PN J613-M2622-00 Rev.A 001208



ご使用にあたってのお願い 次のような場所での使用や保管はしないでください。
 ・
 ・
 自射日光の当たる場所
 ・暖房器具の近くなどの高温になる場所 ・急激な温度変化のある場所(結露するような場所) ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下の環境でご使用ください) 振動の激しい場所 ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所(静電気障害の原因になります)
 ・腐食性ガスの発生する場所
 0.0 静電気注意 本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、 コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。 取り付け・取り外しのときの注意 コンピュータのPCカードスロットに本製品を取り付ける作業は、必ず本マニュアル及び、ご 使用のコンピュータのマニュアルを参照の上正しく行ってください。 長期保管時は袋に入れて 本製品を長期にわたって保管する場合は、必ず添付の袋(静電防止)に入れてください。 取り扱いはていねいに 落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。 お手入れについて 清掃するときは電源を切った状態で 誤動作の原因になります。 機器は、乾いた柔らかい布で拭く 中 汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこま せ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。 ぬらすな 中性洗剤 堅く絞る 使用 お手入れには次のものは使わないでください ・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん (化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。) 類不可

はじめに

この度は「CentreCOM WR211PCM plus」無線LAN 用 PCカー ドをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。 このマ ニュアルは 本製品を正しくご利用いただくための手引きです。 必 要なときにいつでもご覧いただくために保証書とともに大切に保管 くださいますようお願いいたします。

内容物をご確認ください

本製品パッケージの内容は、下記の通りです(下記以外に添付紙が 同梱されている場合があります)。お買い上げ商品についてご確認い ただき、万一不足するものがございましたら、お手数ですが、弊社サ ポートセンターまでご連絡ください。

- · CentreCOM WR211PCM plus 本体
- ・ セットアップユーティリティーディスク(1.44MB、2枚)
- ・ ユーザーマニュアル
- ・製品保証書(3年保証)
- お客様インフォメーション登録カード
- シリアル番号ラベル
- 電波干渉注意ラベル

ドライブ名「A:」「C:」「D:」

本書では、ドライバーのインストール対象となるコンピュータ機種と して「AT 互換機 /PC98-NX シリーズ」を想定しています。「AT 互換機 /PC98-NX シリーズ」では、ドライブ名として下記を仮定し て説明しています。ご使用のコンピュータでドライブ名が異なる場合 は、ご使用のコンピュータにおけるものと読み替えてください。

- ・「フロッピーディスクドライブ」として「A:」
- ・「起動ドライブ (ハードディスク)」として「C:」
- ・「CD-ROM ドライブ」として「D:」

「PC-9821 シリーズ」における一般的なドライブ名を下記にあげま す(必ずしも下記の通りではありません。コンピュータのマニュア ル、実際にご使用のコンピュータでご確認ください)。

- ・「フロッピーディスクドライブ」として「B:」
- ・「起動ドライブ (ハードディスク)」として「A:」
- ・「CD-ROM ドライブ」として「Q:」

表記上の注意

Windows95 には いくつかのパージョンが存在します。本マニュア ルでは、以下の意味で使用しています。

- Version 950 Windows95 Ver.4.00.950
- Version 950a Windows95 Ver.4.00.950 a

- Version B Windows95 Ver.4.00.950 B このパージョンは「Version B」「OSR2 (= OEM Service Release 2)」「Type B」などの呼称が存在しますが、本書で は "Version B" に統一します。
- Version C Windows95 Ver.4.00.950 C
 このパージョンは「Version C」「OSR2.5(= OEM Service Release 2.5)」「Type C」などの呼称が存在しますが、本書 では "Version C" に統一します。

電波に関する注意

本製品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。 また設置の前に、「安全のために」を必ずお読みください。

- ・心臓ペースメーカーをご使用の方の近くや、医療機器の近く で本製品を使用しないでください。
- 電子レンジの近くで、本製品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の使用周波数帯では 電子レンジ等の産業・科学・医療機 器のほか工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内 無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要 しない無線局)が運用されています。

- 1この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局 及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認して ください。
- 2万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電 波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停 止した上、弊社サポートセンターにご連絡頂き、混信回避の ための処置等についてご相談下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対 して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのこと が起きたときは、弊社サポートセンターにお問い合わせ下さい。

目次

概要	6
1.1 特長	6
1.2 ネットワーク構成例	6
13 対応コンピュータ機種	7
	7
1.4 対応オペレーティングシステム	7
1.5 各部の名称と働き	/
1.6 セットアップユーティリティーディスク	8
1.7 設置時の注意	8
1.8 外部アンテナとの接続	8
Windows 98/Me	10
2.1 インストール	. 10
2.1.1 インストールを始める前に	. 10
2.1.2 コンピュータへの取り付け	10
2.1.3 ドライバーのインストール確認	11
2.1.4 ユーティリティーフログラムのインストール	12
2.1.5 無線アイコンの表示	. 14
2.2 ネットワーク接続	14
2.2.1 本製品の設定	.14
2.2.2 コンビューダの ペットワーク」設正	.17
	. 19
2.3 ホットスリッフ(沽線挿扱)に関するこ注意	. 21
2.3.1 コンビュータへの取り付け	
2.4 アンインストール	21
2.4.1 * Uninstaller」を実行 2.4.2 本制品の取り外しの確認	. Z I 22
2.5 トラノルシューティング	. 22
2.5.1 FWR (FOWER) LED が点対していない 2.5.2 ドライバーが正しくインストールされていたい	.23
2.5.2 インイバ が正しくたい	.23
2.5.4 本製品を取り付けたコンピュータのネットワー	ク
設定が正しくない	. 25
2.5.5 正常に動作しない	. 25
Windows NT 4.0	26
3.1 インストール	.26
3.1.1 インストール時のご注意	.26
3.1.2 インストールを始める前に	26
3.1.3 ユーティリティープログラムのインストール	.27
3.1.4 コンピュータへの取り付けと再起動	. 30
3.1.5 インストールの確認と本製品の設定	. 30
3.1.5 インストールの確認と本製品の設定 3.1.6 本製品を使用しないとき	. 30 . 31
 3.1.5 インストールの確認と本製品の設定 3.1.6 本製品を使用しないとき 3.2 アンインストール 	. 30 31 32
 3.1.5 インストールの確認と本製品の設定 3.1.6 本製品を使用しないとき 3.2 アンインストール 3.3 本製品の取り付け・取り外し 	. 30 31 32 33
 3.1.5 インストールの確認と本製品の設定 3.1.6 本製品を使用しないとき 3.2 アンインストール 3.3 本製品の取り付け・取り外し 3.3.1 PCカードの取り付け 	. 30 31 32 33 33
 3.1.5 インストールの確認と本製品の設定	. 30 31 32 33 33 33
 3.1.5 インストールの確認と本製品の設定	. 30 31 32 33 33 33
 3.1.5 インストールの確認と本製品の設定	. 30 . 31 . 32 . 33 . 33 . 33 . 33
	 概要

	3.4.3	正しくインストールされない	34
	3.4.4	その他	34
4	Window	s 2000	35
	4.1 イン	ストール	35
	4.1.1	用意するもの	35
	4.1.2	コンピュータへの取り付け	
	4.1.3	ユーティリティープログラムのインストール	
	4.1.4	インストールの確認とネットワークおよび	
		本製品の設定	37
	4.1.5	本製品を一時的に使用しないとき	39
	4.2 ホッ	トスワップに関するご注意	
	4.2.1	PC カードの挿入	
	4.2.2	PC カードの取り外し	
	13 72	インストール	40
	4.5 / 2		40
	4.4 トフ		40
	4.4.1	無線アイコンか表示されない	40
	4.4.2	その他	40
5	Window	s 95	41
	51イン	ストール	41
	5.1.1	インストールを始める前に	
	5.1.2	本製品のコンピュータへの取り付け	
	5.1.3	ユーティリティープログラムのインストール	
	5.1.4	インストールの確認とネットワークおよび	
		本製品の設定	45
	5.2 本製	品の取り外しの注意	46
	5.3 アン	インストール	47
	5.4 トラ	ブルシューティング	48
A	付録		49
	A.1 製品	仕様	49
	A 2 MAC	こアドレス	49
В	用語集…		50
	B 1 本製	品に関する用語	50
	B 2 2 W		50
	D.2 7 9		
с	保証		51
D	ユーザー	サポート	5 1
	D.1 調査	依頼書のご記入にあたって	51
	D.2 シス	テムレポートの出力方法	51
	D.3 最新	ドライバーソフトウェアの入手方法	52
Е	ご注意…		52
F	商種につ	117	52
•		•••	
G	マニュア	ルバージョン	5 2

1 概要

1.1 特長

CentreCOM WR211PCM plus (以下「WR211PCM plus」と 略します)は以下の特長をもつ無線 LAN カードです。

- ・「WR211PCM plus」 無線 LAN カードを取り付けたノート パソコン同士で、無線通信を実現(「AdHoc」モード)
- 別売のアクセスポイント(CentreCOM WR211AP)を使用 すれば、既存の有線 LAN 環境と無線 LAN 環境を統一した ネットワークの構築が可能 (「Infrastructure」モード)
- 別売の外部アンテナ(WR211ANT-01)を接続すれば、電 波状態が不安定な場所でも使用することが可能
- ローミング機能(複数のアクセスポイントがある場合、電波 状態により、接続するアクセスポイントを自動的に切り替え る機能)に対応
- IEEE802.11b に準拠し、無線上での通信速度 11Mbps の通 信が可能
- 2.4GHz帯の小電力通信システムを使用しているため無線免 許が不要
- ・直接拡散変復調によるスペクトラム拡散方式(DS-SS)の採
 用によりノイズにも強い

- ・屋外 150m/屋内 50m (送信速度 11Mbps 時には、屋外 60m/ 屋内30m)の距離で通信が可能
- ・1~14 チャンネルを切り替えて使用することが可能
- ・セキュリティ対策として、WEP 方式による暗号化機能と SSID によるグループ識別機能を持つ(SSID の設定は、 Infrastructure モード時のみ有効)
- ・良好な通信状態を得られるように、2種類のアンテナを通信 状況に応じて切り替えて使用
- ・動作状態を表示する LED がカード本体に付属
- ・ Plug&Play に対応 (注)
- ホットプラグ / ホットスワップ(活線挿抜)に対応^(注)



Plug&Play、ホットプラグ / ホットスワップ(活線 挿抜)は、これらの機能に対応しているコン ピュータ、オペレーティングシステム(OS)とド ライバーのもとでご使用になれます。

1.2 ネットワーク構成例

本製品を使用すると、次の 2 種類の構成の無線ネットワークを構築 することができます。





1.3 対応コンピュータ機種

本製品は PC Card Standard 95以降に準拠した Type II PC カードに対応する PC カードスロットを持った、次のコンピュータ機種で使用可能です。

- ・ AT 互換機および NEC PC98-NX シリーズ
- PC-9821 シリーズ(ただし、PC-9821Ne 及び EPSON 製 98 互換機には対応しておりません)

1.4 対応オペレーティングシステム

本製品および添付のセットアップユーティリティーは、次のオペレー ティングシステム(OS)に対応しています。

- Windows 95
- Windows 98
- · Windows 98 Second Edition
- Windows NT 4.0(サービスパック 3 以上がインストールされていること)
- Windows 2000
- · Windows Me



省電力モード(パワーマネージンナ機能、サスペンドレジューム機能)には対応しておりませんので、全ての設定を無効にしてご使用ください。



Windows 98、Windows 2000、Windows Meの ACPI 機能 には対応しておりません。



本製品を、Windows NT4.0 で使用する場合には、サービス /シク3 以上がインストールされていなければないません。「 サービス/シクの確認」(p.26)の手順を参照して、正しい サービスパックがインストールされていることを確認してくださ

い。 サービスバックがインストールされていない、またはサービス バック2以下がインストールされている場合は、サービスバッ ク3以上をインストールしてください。



本製品をWindows 95 の Version B より前のパージョンでご 使用になる場合は、Microsoft から提供されているアップデー トモジュールが必要になる場合があります。Microsoft のホー ムページから「ダイヤリアップネッドワーク 1.3 アップグレード」 をダウンロードし、ご使用のコンピュータに本製品を取り付ける 前にインストールしてください。

1.5 各部の名称と働き

図 1.5.0.1、図 1.5.0.2をもとに各部の名称と働きを説明します。

PC カード本体

コンピュータの PC カードスロットに挿入し、LAN アダプ ターの機能を提供します。 PWR/TX LED

電源が正常に供給されている時に黄色で点灯します。また、 データ送信時には、緑色で点灯します。

外部アンテナ接続端子

- 別売の外部アンテナ(WR211ANT-01)を接続する端子で
- す。外部アンテナを使用する場合は、端子のカバーを外し
- て、アンテナを接続します。



③外部アンテナ接続端子

図 1.5.0.1 WR211PCM plus 外観図(上面)

警告ラベル

本製 品を安全にご 使用いただく ための重要な 情報が記載さ れています。必ずお読みください。

シリアル番号ラベル

本製品のシリアル番号(製造番号)とリビジョンが記入され ています。同じものが、3枚同梱されており、パッケージ (外箱)にも貼付されています。同梱されているシリアル番 号ラベルは、「製品保証書」および「お客様インフォメーショ ン登録カード」に貼付してください。シリアル番号とリビ ジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせ時に必要な情報 です。

MAC アドレスラベル

本製品の MAC アドレスが記入されています。MAC アドレ スついては、「A.2 MAC アドレス」(p.49)をご覧ください。



図 1.5.0.2WR211PCM plus 外観図(下面)

使用周波数帯域	2.4GHz 帯
変調方式	DS-SS 方式
想定干涉距離	20m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内局」 あるいは「特小局」帯域を回避可能

1.6 セットアップユーティリティー ディスク

本製品をご使用になる前に必ず、「セットアップユーティリティー ディスク 1of2」に含まれる「README.*」ファイルをお読みくだ さい。「README.*」には このマニュアルに記載されていない最 新の情報が記載されています。



README.1ST (Read me first.) ファイルには、ドライ パーディスクの詳細なディレクトリ構造やドライバー ディスク全体に関わることが記載されています。 README.95、README.98、README.NT、 README.2K、README.Me ファイルには、それぞれの ドライバーに関する詳細情報が記載されています。

1.7 設置時の注意

本製品を設置する前に、「安全のために」(p.2)、「電波に関する注 意」(p.4)を必ずお読みください。

無線通信を行うコンピュータ同士は お互いのコンピュータを見通せ る位置に設置してください。本製品のサービスエリアは 屋外で 150m、屋内で50m(11Mbps通信時は 屋外60m 屋内30m) になります。



コネクターの端子にはさわらないでください。静電気を帯びた 手(体)でコネクターの端子に触れると、静電気の放電によ り故障の原因となます。

本製品をコンピュータに取り付けたときに、内蔵アンテナ部(コン ピュータ本体の外に出る部分)には、無理な力を加えないでください。

- 物を落とす、手をつく
- 手や物を引っかける

など、無理な力を加えると、本製品の故障や破損の原因となります。





上記の注意に従わず、誤った使い方をした場合に発生した 故障につきましては、製品保証の対象外とさせていただきま す。

本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分(水道の蛇 ロ、ドアノブ等)に触れて体内の静電気を放電してください。 この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に 触れないようにしてください。

本製品の内部には、最新の IC 類が使用されています。ご 使用中の静電気による故障対策はされていますが、他の機 器との接続時などには、特に注意してください。お客様の不 注意により生じた静電気等による故障等につきましては、保 証の対象外となますのであらかじめご了承ください。

1.8 外部アンテナとの接続

本製品に別売の外部アンテナ(WR211ANT-01)を接続し、外部 アンテナを見通しの良い場所に設置すると、内蔵アンテナだけでは 電波状態が不安定な環境でも、より安定した電波状態での受信が 可能となります。本製品と外部アンテナの接続手順は、次の通り です。



コネクターの端子にはさわらないでください。静電気を帯びた 手(体)でコネクターの端子に触れると、静電気の放電によ り故障の原因とないます。

(1) 針などの先の細いものを使用して、PC カード本体にある、 外部アンテナ接続端子のカバーを外します。



カバーを外す際に針などをご使用になる場合は、ケガなどし ないよう注意してご使用ください。

(2) 外部アンテナ接続端子に、アンテナのケーブルを接続します。



(3) 接続部分が外れないように注意しながら、外部アンテナを見 通しの良い場所に設置します。



外部アンテナを振動、衝撃の多い場所や不安定な場所に設 置しないでください。機器の落下による、ケガ・誇張の原因 となることがあります。



外部アンテナを高所に設置する場合、ケーブルの重みにより アンテナ本体が落下しないように、外部アンテナは安定した 場所に設置してください。落下によるケガ・機器破損の恐れ があます。 (4) 外部アンテナを取り外す場合には、アンテナケーブルのコネ クターの根本を持って、取り外してください。

外部アンテナと本製品を接続した場合、接続部分に無理な力が加わらないように設置してください。

- アンテナケーブルに、手や物を引っかける
- 本製品とアンテナの接続部分の上に物を置く
- ・ アンテナケーブルを無理に曲げる

など無理な力を加えると、アンテナケーブルが本製品から外れてし まったり、本製品や外部アンテナの故障、または破損の原因となりま す。



上記の注意に従わず、誤った使い方をした場合に発生した 故障につきましては、製品保証の対象外とさせていただきま す。

2 Windows 98/Me

2.1 **インストール**

本製品をシステムにインストールする手順について説明します。イン ストールは、次の2段階の手順で実行してください。

- 1 本製品をコンピュータに取り付け、ドライバーをインストー ルする
- 2 ユーティリティープログラムをインストールする
- 2.1.1 インストールを始める前に

用意するもの

- ・WR211PCM plus カード本体
- ・コンピュータ(Windows 98/Meインストール済み)
- ・「セットアップユーティリティーディスク」2枚
- ・Windows 98/Meの CD-ROM



Windows 98/Me が、コンピューダ購入時にあらかじめインス トールされた形態で提供されたもの、すなわちブリインストール 版である場合は、Windows 98/Me のパッグアップ CD-ROM が付属しているかどうかるご確認ください。バッグアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のため必ずフロッピー ディスグ等にWindows 98/Me のパックアップを取った後でドラ イバーのインストールを開始してください。パッグアップの手順 については、ご使用のコンピューダのマニュアルをご覧になる か、コンピューダメーカーにご確認ください。



ハードディスク内のデータは、必ずフロッピーディスク等にバッ クアップをとった後で、ドライバーのインストールを開始してくだ さい。特に重要なデータについては 必ずバックアップをとら れることをお勧めします。 また、いかなる場合でも、データが消失または破損したことに

よる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますの で、あらかじめご了承ください。

2.1.2 コンピュータへの取り付け



以下にあげる手順は一例です。お客様の環境によっては、 手順などが若干異なることがあります。また、ここでは Windows 98 Second Edition での手順を例にしています。 Windows Me をご使用の場合は、「98」を「Me」に、読 み替えてください。



本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分(水道の蛇 ロ、ドアノブ等)に触れて体内の静電気を放電してください。 この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に 触れないようにしてください。

 コンピュータの電源をオンにし、Windows98 を起動してく ださい。

- (2) コンピュータのPCカードスロットに本製品を挿入してください。
- (3) Windows98 は本製品が PCカードスロットに挿入されたことを自動的に検出し、「新しいハードウェアの追加ウィザード」を起動します。「次へ」ボタンをクリックします。

新しいハードウェアの追加ウィ	ザード
	次の新しいドライバを検索しています: Allied Telesis KK-WR211PCM plus デバイスドライバは、ハードウェア デバイスが動作するために必要なソ フトウェアです。
	< 戻る(図) (次入) キャンセル

(4)「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を 選択し、「次へ」ボタンをクリックします。







(5)「セットアップユーティリティーディスク 1of2」をフロッ ビーディスクドライブに挿入します。次のダイアログで「検 索場所の指定」をチェックして「A:¥」と入力し、「次へ」ボ タンをクリックします。(ここではフロッピーディスクドラ イブを「A:」、AT互換機を仮定します)



(6)「ドライバのある場所」に、「A:¥NETCW10.INF」と表示されているのを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。



また、次のようなダイアログが表示される場合、 Windows98のCD-ROM がCD-ROM ドライプに挿入され ていることを確認し、「ディスクの挿入」ダイアログで 「OK」ボタンをクリックしてください。



次のダイアログが表示される場合は、「ファイルのコピー 元」に「D:¥WIN98」を入力してください。ここではCD-ROM ドライブを「D:」AT 互換機を仮定します。





ご使用のコンピュータがプリインストール版で ある場合、「ファイルのコピー元」として 「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を入力してく ださい(ここではハードディスクドライブを「C:」 AT互換機を仮定します)。

(7)「完了」ボタンをクリックしてください。

新しいハードウェアの追加ウィザ	~ k
	Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card
	新しいハードウェア デバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。
8.00	
	< 戻る(医) 第7 ト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

 (8) フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「はい」 ボタンをクリックし、コンピュータを再起動します。

システム部	定の変更
?	新しいハードウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。 今すぐ再起動しますか? 【【ばい(Y】】】、いいえ(N)

2.1.3 ドライバーのインストール確認

ドライバーのインストールが、正しく終了していることを確認してか ら、「2.1.4 ユーティリティープログラムのインストール」に進みます。

デバイスマネージャによるインストールの 確認

(1)「コントロールパネル」の「システム」アイコンをダブルク リックします。



(2)「デバイスマネージャ」タブをクリックします。インストー ルが正常に行われていれば、「ネットワークアダプタ」の下 に「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」が表示さ れます。

システムのプロパティ ・ マーズ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
● 種類明に表示① ○ 接続別に表示②
DUCE DUCE
OK キャンセル

本製品のアイコンに「×」「?」「!」などのマークが付いて いたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下 ではなく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下 にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、 「2.5 トラプルシューティング」(p.22)をご覧ください。

(3)「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」を選択(反転 表示)し、「プロパティ」ボタンをクリックします。「全般」 タブで「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作 しています。」と表示されていることをご確認ください。

Allied Telesis WR211PCM plus LAN Cardのプロパティ 🔹 🛛
全般」「ライバ」リソース
Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card
デバイスの種類: ネットワーク アダプタ
製造元: Allied Telesis
ハードウェアのバージョン: 情報なし
FTIVAL COL
このデバイスは正常に動作しています。
デバイスの使用
□ このハードウェア・ブロファイルで使用イ・可にする(D)
マ すべてのハードウェア プロファイルで使用する(E)
OK ++>>t2/1

(4) 本製品が使用する I/O の範囲 (I/O アドレス)割り込み要求(IRQ)などは、Windows98 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。

ここでは、リソースの「I/O の範囲」が「1000 - 103F」、 「割り込み要求」が「15」に、自動的に設定されています。

Allied Telesis WR211PCM plus LAN Cardのプロパティ 🔹 🗙
全裁 ドライ (リソース
Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card
☑ 自動設定を使う(1)
基にする設定(B) 基本設定 0000 💌
リソースの種類 <u>設定</u> 1000-103F 計込み要求 15
設定の変更(2)
競合するデバイス:
最合はありません。
v
OK ++1021

PC カード (PCMCIA) による確認

「コントロールパネル」の「PC カード(PCMCIA)」アイコンをダ ブルクリックします。「ソケットの状態」タブを選択し、該当するソ ケットに「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」が表示さ れていることを確認します。

C カード (P ソケットの状	CMGIA)のプロパティ ? 総 設定]
	PC カードを取りはずすには、一覧から選択して [停止] をクリッ
Allied	Telesis WR211PCM plus LAN Card - ソケット1
	Mrak 2
停止	2
🗹 ୭ス୬	「一上にコントロールを表示する(ビ)
☑ 停止前	ルニカードが取りはずされたら、警告を表示する(D)
	OK キャンセル 適用(A)

2.1.4 ユーティリティープログラムの インストール

インストール時の設定項目

ユーティリティープログラムをインストールする際に設定する項目に ついて説明します。設定する項目は、次の2項目です。

ر SSID ،

無線 LAN ネットワークを構成するコンピュータ同士を識別 する名前です。同じネットワークに属するコンピュータ同士 は、同じ SSIDを設定します。SSID は、半角英数 32 文字以 内で設定します(大文字、小文字も区別されます) SSID の設定は、「Infrastructure」モード時のみ、有効にな ります。インストール時のデフォルトは、「CentreCOM WR211PCM」です。

・「通信モード」

無線 LAN のネットワーク構成を設定します。「AdHoc」モー ドでは、本製品を取り付けたコンピュータ同士でネットワー クを構成します。「Infrastructure」モードでは、アクセスポ イントを使用し、有線ネットワークと無線ネットワークを統 合した 1 つのネットワークを構成することができます。 インストール時のデフォルトは、「Infrastructure」です。 次に説明する手順の中では「SSID」と「通信モード」はデフォルトのままでインストールするものとします。

 「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を 選択します。



(2)「セットアップユーティリティーディスク 1of2」をフロッ ピーディスクドライブに挿入し、「名前」に「A:¥Setup.exe」 と入力し、「OK」ボタンをクリックします(ここではフロッ ピーディスクドライブを「A:」、AT互換機を仮定します)。

ファイル名を打	定して実行 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
\$T	聞きたいプログラム、フォルダ、ドキュメント、またはインター ネットリソースの名前を入力してください。
名前(0):	A#Setup.exe
	(E) キャンセル 参照(B)

(3)「Setup」プログラムを実行する前に、他のプログラムを終 了し、「次へ」ボタンをクリックします。



(4) 「ソフトウェア使用権許諾契約書」の内容を確認し、「はい」 ボタンをクリックします。



(5)「SSID」を設定し、「次へ」ボタンをクリックします。



(6) 「通信モード」を設定し、「次へ」ボタンをクリックします。



(7) ユーティリティープログラムのインストール先を指定します。表示されているインストール先を変更したい場合は、「参照…」ボタンをクリックし、変更先を指定します。インストール先が決まったら、「次へ」ボタンをクリックします。

シストール先の選択	×
	もパトプ目立気の24891C DentreOM WR211POM plus を (カルモルます。 この140 ¹⁻ ヘイスト-4はじたへ)がりを労みのします。 他の2140 ¹⁻ ヘイストーする場合は【参照】がりを労みのしつおり 空操作します。 CentreCOM W211POM plus をくカートしてない場合は [++76]のサンを分みし続くします。
20	- (八)-4先の7467 こ:4WortweOM W211POK plus 参照(E) (戻る(E) (1次へ(E))、 キャ/46

(8) ファイルのコピーが始まります。次のダイアログが表示されたら、フロッピーディスクを「セットアップユーティリティーディスク 2of2」に交換し、「OK」ボタンをクリックします。

次のディ スクの	挿入 🛛
F	次のディスク(ディスク 2)を挿入して下さい。このディスク ファイルが他のドライフなどにある場合は、そのバスをすべ て入力するか、または[参照]ギ゚゚゚がを沙力してバスを選 択して下さい。
Λ*λ: Μηχετήτας	参照(月)
	OK N Trijeli

(9) ユーティリティープログラムを使用する前に、コンピュータ を再起動する必要があります。「はい、直ちにコンピュータ を再起動します。」を選択し、<u>フロッピーディスクドライブ からディスクを抜き、</u>「完了」ボタンをクリックしてコン ビュータを再起動します。



2.1.5 無線アイコンの表示

コンピュータが再起動すると タスクバーに無線アイコンが表示され ます。通信モードを「Infrastructure」に設定した場合は、アクセ スポイントとの接続状況に従って、表示されるアイコンが異なります。 アイコンの種類は、次のとおりです。

[「Infrastructure」モードでアクセスポイントとの通信状態が良好な 場合]



[「Infrastructure」モードでアクセスポイントとの通信状態が不良な 場合]



[「Infrastructure」モードでアクセスポイント検索中の場合]



2.2 ネットワーク接続

ここでは ネットワーク接続をするための手順について説明します。 ネットワーク接続するには 大きく分けて次の3段階の手順を実行し ます。

- 1 本製品の設定
- 2 コンピュータの「ネットワーク」の設定

3 ネットワーク接続の確認

2.2.1 本製品の設定

本製品の設定は「Configuration Utility」を使用して変更します。

基本設定

(1) タスクバーに表示されている無線アイコンをクリックします。タスクバーに表示される無線アイコンは、通信モードの設定などにより異なります。無線アイコンの種類については、「2.1.5 無線アイコンの表示」(p.14)を参照してください。

[無線アイコンの表示例]



タスクバーに無線アイコンが表示されていない場合は、「ス タート」メニューから「プログラム」 「CentreCOM WR211PCM plus」 「Configuration Utility」を選択する と、アイコンが表示されます。

(2)「設定」タブをクリックして、各項目の設定を変更します。 設定を変更したら、「設定変更する」ボタンをクリックします。

設定を変更した場合は、必ず「設定を変更する」ボタンを
 クリックしてください。「設定を変更する」ボタンを
 クリックしてください。「設定を変更する」ボタンを
 フリックしな
 は
 は
 たい
 たい
 は
 たの
 たの
 は
 たの
 た

アクセスポイントを使用してネットワーク接 続する場合

アクセスポイントを使用してネットワーク接続する場合には、次のように設定します。



「通信モード」
 無線 LAN のネットワーク構成を設定します。
 アク セスポイントを使用してネットワーク接続する場合には、「Infrastructure」モードを選択します。

• SSID」

無線LAN ネットワークを構成するコンピュータ同士を識別 する名前です。同じネットワークに属するコンピュータ同士 は、同じSSID を設定します。SSID は、半角英数32 文字以 内で設定します(大文字、小文字も区別されます)。インス トール時のデフォルトは、「CentreCOM WR211PCM」で す。

SSID は、セキュリティ確保のために、デフォルトの設定を 変更して独自のSSID を設定されることをお勧めします。

・「送信速度」

送信速度は、「Fully Automatic」、「1Mb」、「2Mb」、「Auto 1 or 2Mb」、「5.5Mb」、「11Mb」の中から選択できます。 帯域を有効に利用し、最適な速度で通信を実行するには、デ フォルトの「Fully Automatic」の設定のままでご使用ください。

・「通信方式」

通信方式は、「Encapsulated」、「RFC1042」、「802.1h」の 中から選択できます。 通常は、「RFC1042」を選択します。古い無線 LAN のシス

テムと接続する場合は、その他の通信方式を選択します。

・「暗号」

無線通信で、暗号を使用するか使用しないかを選択します。 暗号を使用する場合には、「Mandatory」を選択します。暗 号を使用しない場合には、「Disabled」を選択します。 「暗号」を使用する場合には、「「暗号」の設定」(p.16) を参照してください。

・「省電力」

省電力機能を使用するか、しないかを選択します。省電力機 能を使用する場合には、「Enabled」を選択し、使用しない 場合には、「Disabled」を選択します。

省電力機能には対応しておりませんので、Disabledのままで ご使用ください。

・「チャンネル」

注意

「Infrastructure」モードで使用する場合は、アクセスポイン トを検索するときに、使用しているチャンネルも自動的に検 索しますので、設定する必要はありません。

「設定変更する」ボタンをクリックすると 同じ「SSID」が設定されているアクセスポイントを検索します。また、複数のアクセスポイントが存在する場合は、電波状態の良い方のアクセスポイントを選択します。

本製品を取り付けたコンピュータ同士をネッ トワーク接続する場合

本製品を取り付けたコンピュータ同士をネットワーク接続する場 合には、次のように設定します。



・「通信モード」

無線 LAN のネットワーク構成を設定します。 本製品を取り付けたコンピュータ同士をネットワーク接続 する場合には、「AdHoc」モードを選択します。

۰ ' SSID J

SSID の設定は、「AdHoc」モードの場合は無効です。

 AdHoc」モードの場合は「SSID」の設定が有効では ありませんので、セキュリティを確保することができません。お使いのコンピュータが属するネットワーク グループ内で、無線通信で送信する情報を保護したい 場合には、後述の「暗号」を設定してください。

 「送信速度」
 送信速度は、「Fully Automatic」、「1Mb」、「2Mb」、「Auto 1 or 2Mb」、「5.5Mb」、「11Mb」の中から選択できます。
 帯域を有効に利用し、最適な速度で通信を実行するには、デ フォルトの「Fully Automatic」の設定のままでご使用ください。

「通信方式」
 通信方式は、「Encapsulated」、「RFC1042」、「802.1h」の
 中から選択できます。
 通常は、「RFC1042」を選択します。古い無線 LAN のシス
 テムと接続する場合は、その他の通信方式を選択します。

「暗号」
 無線通信で、暗号を使用するか使用しないかを選択します。
 暗号を使用する場合には、「Mandatory」を選択します。
 号を使用しない場合には、「Disabled」を選択します。
 「暗号」を使用する場合には、「「暗号」の設定」(p.16)
 を参照してください。

・「省電力」
 省電力の設定は、「AdHoc」モード時には無効です。

・「チャンネル」 「AdHoc」モードの無線通信で使用するチャンネルを設定します。同じネットワークに属するコンピュータ同士は、同じ チャンネルを設定します。 チャンネルを変更して使用する場合、他の無線設備と電波干 渉を起こすことがあります。電波干渉を起こさないようにす るためには、無線通信に使用するチャンネルの間隔をあけて 設定して下さい。

「暗号」の設定

本製品では 無線ネットワーク上で交換されるデータを保護するため に、暗号を使用することができます。暗号を使用して通信を行うた めには、暗号を使用するグループのコンピュータ全てに、同じ暗号 を設定する必要があります。

次に、「キー文字列」を設定して暗号を設定する手順について説明 します。例として、暗号を使用して通信するコンピュータを、コン ピュータA コンピュータBの2台とします。

コンピュータ A の設定

(1)「Configuration Utility」の「暗号化」タブをクリックします。 「キー文字列」に、任意の<u>半角英数文字を入力</u>してから、「設 <u>定」ボタンをクリック</u>します。入力した文字の大文字と小文 字は区別されます。

Wireless LAN Configuration Utility
「推続情報」設定(暗号化)」一次ン情報
時代化の設定はモンマゴル(生肉産数)を入力。 国空にから発現、石田県・生ちまたる方法で、 取ったり、ために、「「「「「「」」」、「「」」、「」」、「」」、「」、 「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「
牛一文字列 ATKK
書きたったいことにいって、新しいWEPキーでドライバーと レジスドリをアップデートして下さい。
Key 1 00 00 00 00 00 書き込み
Key 2 00 00 00 00 00 207
Key 3 00 00 00 00 00
Key 4 00 00 00 00 00 Default Key 1 -
OK キャンセル ヘルブ

(2) 「<u>書き込み」ボタンをクリック</u>すると、暗号キーが設定され ます。



(3)「設定」タブをクリックします。「暗号」で「<u>Mandatory」(暗</u> <u>号を使用する)を選択し、「設定変更する」ボタンをクリッ</u> <u>ク</u>します。

Nireless LAN Configuration Utility
「福徳福福」設定「略号化」バージョン情報」
〕通信モート ² (M) AdHoc
SSID(S) CentreCOM WR211PCM
通信方式(E) RFC1042 🔽
送信速度(T) Fully Automatic ▼
暗号(W) (MERCECTIVE) IIII (D) IIIII (D)
省電力(P) D abled ▼ 変更前に戻す(U)
チャンネル(C) 🕫 🔝 💦 設定変更する(A)
OK キャンセル ヘルフ

(4) これで、コンピュータ A の設定は終了です。<u>暗号を使用して通信するには、通信先のコンピュータにも同じ設定をしな</u>ければなりません。続いて、コンピュータ B の設定を行います。

ただし、暗号キーの設定後、「Configuration Utility」を終了 (「Wireless LAN Configuration Utility」ウィンドウを閉じ る)してから、再度、「Configuration Utility」を起動すると、 「暗号化」タブには、設定したキー文字列や暗号化キーは表示されません。

コンピュータ B の設定

(1)「Configuration Utility」の「暗号化」タブをクリックします。 「キー文字列」に、<u>コンピュータAで入力したのと同じ文字</u> <u>列を入力</u>します。このとき、<u>大文字と小文字は区別されます</u> <u>ので、注意して入力してください。</u>



(2)「設定」ボタンをクリックすると、コンピュータAで表示されたのと同じキーが表示されます。「書き込み」ボタンをクリックすると、キーが設定されます。

Wireless LAN Configuration Utilit	ly X
接続情報 設定 暗号化 パージシン情報	報]
暗号化の設定はキー文字列(半角英数) 設定床り/※担して暗号キーを生成する キー入力欄に直接暗号キーを入力(6)部 Aードする方法があります。DefaのKo 暗号キーを入力する方法でのみず用でど	を入力し 方法と いうの。 いば直接 きます。
キー文字列 ATKK (まま込み)ボタ 水押して、新ししWEP	キーでドライバーと
Key 1 68 03 47 6e 96	書き込み
Key 2 fc 1c f0 4c 5e Key 3 a8 7a 67 27 40	507
Key 4 1d 7d 23 cc 2e	Default Key 1 💌
ОК	キャンセル ヘルフ

(3)「設定」タブをクリックします。「暗号」で「<u>Mandatory」(暗</u> <u>号を使用する)を選択し、「設定変更する」ボタンをクリッ</u> <u>ク</u>します。

I Wireless LAN Configuration Utility
推続情報(設定)が考化」パージョン情報
通信モード(M) AdHoc 🔽
SSID(S) CentreCOM WR211PCM
通信方式(E) RFC1042 🔽
送信速度① Fully Automatic -
暗号(W) Mendetony () 初期他に戻す(D)
省電力 (P) L cabled ▼ 変更前に戻す(U)
テャンネル(C) 6 🔛 設定変更する(A)
OK キャンセル ヘルプ

(4) これで2 台のコンピュータの設定は終了です。

「暗号化」タブで、キー文字列を入力して暗号化キーを設定する場合には、「default key」の設定は無効です。「default key」の設定は「キー文字列」を入力せず、「key1 ~ key4」に直接数値 (16 進数値)を入力した場合に有効となります。

- 2.2.2 コンピュータの「ネットワーク」設定
 - 「NetBEUI」を使用した、ファイルなどの共 有
- コンピュータについて以下の設定が必要になります。
 - 「NetBEUI」、「Microsoft ネットワーククライアント」の確認

ユーザー情報、または識別情報(コンピュータ名、ワークグ ループ)の確認

コンピュータの共有設定(ハードディスク・プリンター等の 共有)

- 「NetBEUI」、「Microsoft ネットワーククラ イアント」の確認
- (1) 「スタート」「設定」「コントロールパネル」を選択します。
- (2) 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
- (3)「ネットワーク設定」タブの「現在のネットワークコンポー ネント」に、「NetBEUI」「Microsoftネットワーククライア ント」と「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」が 表示されていることを確認します。

*>>>//>>
ネットリークUNEXE (認知情報) アクセスの制御 現在のさいて ションバ・ホントロン 問題 Microsoft ネットワーク クライアント
WY Allied Telesis WE21PCM plus LAN Gord Prosmo 町多イヤルアップ アダンタ 客下もDA オロレマー
*** NetBEUt -> Allied Tolesis WF211PCM plus LAN Card *** *** *** *** *** ##除(E) プロパティ(E) 使先的(に口グオンするネットワーク(L)
Microsoft ネットワーク クライアント アテイルとプリンタの共有(E) FHRE
- 1/01
OK +v>tell

「NetBEUI」と「Microsoft ネットワーククライアント」が 「現在のネットワークコンポーネント」に無い場合は、「追 加」ボタンをクリックし、各プロトコルやサービスを追加し てください。

識別情報の確認

以下の手順に従い、「識別情報」を確認します。

(1) 「識別情報」タブをクリックします。

コンピュータ名: PC1
ワークグルー ブ : 0R0UP1 コンピュータの説明:

(2)「コンピュータ名」、「ワークグループ」、「コンピュータの説明」を設定します。



重要:ワークグループ名は、ビアツービア接続する全てのコン ビュータに同じ名前を設定してください。また、Windows の OS 自体が、コンピュータ名・ワークグループ名の漢字(日本 語・カナ)に対応していません。必ず半角英数をご使用くだ さい

(3) Windows の再起動が要求されますので、「OK」ボタンを押して、再起動します。



要求されない場合でも、設定を有効にしますので手動で再起 動してください。 (4) Windows が再起動され「ネットワークパスワードの入力」 画面が表示されます。

ネットワーク パスワ	フードの入力	? ×
	Microsoft ネットワーク へのネットワーク パスワードを 入力してください。	ОК
T de la compañía de		キャンセル
ユーザー名(山):	userid	
バスワード®:	******	



コンピュータの共有設定

ここでは、ハードディスクの共有について説明します。プリンターを 共有する場合は プリンターメーカによって操作が異なりますので、 プリンターメーカにご相談ください。

「Cドライブ」を共有するときの手順を例に説明します。

(1) 「ネットワーク設定」タブの「現在のネットワークコンポー ネント」に、「Microsoft ネットワーク共有サービス」が表 示されていることを確認します。

x>トワ−ク ? ×
ネットワークの設定 識別情報 アクセスの制御
現在のネットワークコンボーネント(型)
같 I/DA プロト크ル -> Toshiba FIR Port Type-O The NetBEUI -> Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card
a NetBEUL フタイマルクラクアタフタ 留下 TCP/IP -> Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card マニット/IP -> ダイヤルアップ アタフタ
優先的にログオンするネットワーク(L): Microsoft ネットワーク クライアント
ファイルとプリンタの共有(日)
- \$109
OK ++>>t21/

表示されていない場合は、「ファイルとプリンタの共有」ボ タンをクリックし、「ファイルを共有できようにする」を チェックして、「OK」ボタンをクリックします。

(2) デスクトップ上の「マイコンピュータ」アイコンをダブルク リックします。

(3) 「マイコンピュータ」ダイアログの「(c:)」ドライブアイコン 上でマウスの右ボタンをクリックし、メニューを表示して 「共有」を選択します。



(4) 「共有」タブをクリックし、「共有する」ラジオボタンをチェッ クします。「共有名」、「アクセス権の種類」、「パスワード」 などの項目を運用方法に合わせて設定します。

(C:)のプロパティ ?	×
全般 ツール 共有	
● #有する(S) →	
共有省心: ○	
アクセスの種類:	
 読み取り専用(B) 	
O フルアクセス(E) の パフロ・ドマグアド(O)	
(0) //2/2-K:	
読み取り専用アクセス用(E): ******	
フルアクセス用(_): *******	
OK キャンセル 適用(A)	ī

(5) C ドライブが共有できる状態になります。



「TCP/IP」プロトコルを使用

- (1) 「スタート」「設定」「コントロールパネル」を選択します。
- (2) 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

 (3)「ネットワーク設定」タブの「現在のネットワークコンポー ネント」に、「TCP/IP」と「Microsoftネットワーククライ アント」が表示されていることを確認します。

	? ×
③ Twitter Jan Jan San San San San San San San San San S	
ファイルとブリンタの共有(E).	_
OK #	ャンセル

「TCP/IP」が「現在のネットワークコンポーネント」に無い 場合は、「追加」ボタンをクリックし、プロトコルを追加し てください。

(4) 「TCP/IP」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

››Իワーク 🛛 🕄 🗵
ネットワークの設定 識別情報 アクセスの制御
現在のネットワークコンボーネントQU: ■愛ダイヤルアップ アダプタ かごわりる プロトコルーン Toshiba FIR Pert Type-O
3 NetBEUI -> Allied Telesis WR211 PCM plus LAN Card
A TOP/IP → Alling Tolesis WEITEM plus LAN Card
道加(A)
優先的にログオンするネットワーク(L):
Microsoft ネットワーク クライアント
ファイルとブリンタの共有(E)
- 説明 TCP/IP は、インターネットや WAN への接続に使用するプロトコルです。
0K #v7t2/l

 (5)「IP アドレス」タブで、「IP アドレスを指定」をチェックし、 IP アドレスなどを設定します。

TCP/IPのプロパティ バインド 詳細設定 NetBi	
IP アドレスは DHCP サー/ れます。ネットワークが自動 ーク管理者がアドレスを割り い。	いっしょって自動的にこのコンピュータに割り当てら 始切に IP アドレスを割り当てない場合は、ネットワ り当てます。この場合はアドレスを入りしてくださ
 ○ IP アドレスを自動的 ○ IP アドレスを指定(5)
IP アドレスΦ: サブネット マスク(Ψ):	192.168.1.149 255.255.255.0
	0K ++>2Uh

「IP アドレスを自動的に取得」

DHCP サーバには、IP アドレスを自動的に割り当て、管理 する機能があり、DHCPサーバがネットワーク上に存在する 場合は、「IP アドレスを自動的に取得」を選択することがで きます。

無線 LAN ネットワーク上に、Windows NTサーパやダイア ルアップルータなどの DHCP サーパ機能をもった機器がな い場合には、IP アドレスは手動で設定しなければなりませ ん。無線 LAN ネットワーク上に、Windows 98/95 のコン ピュータしかない場合は、DHCP サーパは存在しません。

「IP アドレスを設定」

ネットワーク上の他のコンピュータに、既に IP アドレスが 割り振られている場合には、ネットワーク管理者に IP アド レスを確認してください。

2.2.3 ネットワーク接続の確認

ネットワーク接続に関する設定が終了したら、正しくネットワーク接続 ができているかどうかを確認します。

アクセスポイントとの接続状態の確認

「Infrastructure」モード時には、「Configuration Utility」の「接 続情報」タブで、アクセスポイントとの接続状態を確認することがで きます。

(1) タスクバーに表示されている無線アイコンをクリックします。タスクバーに表示される無線アイコンは、通信モードの設定などにより異なります。無線アイコンの種類については、「2.1.5 無線アイコンの表示」(p.14)を参照してください。

タスクパーに無線アイコンが表示されていない場合は、「ス タート」メニューから「プログラム」 「CentreCOM WR211PCM plus」 「Configuration Utility」を選択する と、アイコンが表示されます。

(2)「接続情報」タブをクリックすると、アクセスポイントとの 接続状態を確認できます。

- Wir	less LAN Configuration Utility 🛛 🗙
报続	報】設定「暗号化」バージン情報」
	SS ID ステータス Associated - BSS ID = 00:90:99:10:60:61
	yau 🖬 📖
	「茜検索伯」
1	1部速度 11 Mbits/s
_ fi	送速度
	D D. 1960
)甬信状態 Excellent (100%)
	型读出版 Excellent (029)
	OK ト キャンオフル ヘルプ

- ・「BSS ID ステータス」 アクセスボイントと接続できていれば、「Associated -BSS ID = (アクセスポイントの)MAC アドレス」が表示 されます。接続できない場合は、「Scanning」と表示されま す。
- 「チャンネル」
 現在使用しているチャンネルが表示されます。
- 「送信速度」
 無線 LAN ネットワークを構成する機器が対応している送信速度(単位は Mbps)が表示されます。送信速度は、「1、2、
 5.5、11」のうちのどれかが表示されます。
- 「伝送速度」
 現在の送信速度(「Tx」)と受信速度(「Rx」)が表示されます。
- ・「通信状態」

現在の通信状態を、「Excellent、Good、Fair、Poor、Not Connected、Not Applicable」の6 段階と、「%」で表示し ます。また、通信状態の変化を、ステレオのレベルメータの ように表示します。

電波状態

現在の電波の状態を、「Excellent、Good、Fair、Poor、Not Connected、Not Applicable」の6 段階と、「%」で表示し ます。また、電波状態の変化を、ステレオのレベルメータの ように表示します。

・「再検索」ボタン

電波状態が悪くなった場合に、このボタンをクリックして、 電波状態の良好なアクセスポイントを検索します。電波状態 の良好なアクセスポイントが見つかった場合には、自動的に 接続を切り替えます。

ローミング機能

本製品は ローミング機能(複数のアクセスボイントがある場合、 電波状態により、接続するアクセスボイントを自動的に切り替え る機能)に対応していますので、複数のアクセスポイント間を移動し ても、再接続などの必要はありません。



ローミング中は、ネットワーク接続が切断されたり、データ転送 の遅延が発生することがあります。データの送受信中(ファ イルの転送中など)には、アクセスポイント間を移動しないよ うにしてください。

「ネットワークコンピュータ」から確認する

(1)「ネットワークコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。

(2)「ネットワークコンピュータ」に、無線 LANで接続されているコンピュータが表示されます。



(3) 接続先のコンピュータのアイコンをダブルクリックすると、
 共有しているファイルを参照することができます。

💻 Pc1						-	
771N(E)	編集(E)	表示(⊻)	移動(<u>G</u>)	お気にフ	()(<u>A</u>) ^	ルナ(日)	
⇔ . 戻る .	→ 進む	1 1 1) 初の取り	<u>ل</u> علا-	間 貼り付け	120 元に戻す	*
] アドレス(D) 📕	¥¥Pc1						•
Po1							
							4

「Ping」で接続を確認

「Ping」コマンドを実行するには、TCP/IP プロトコルが インストールされていなければなりません。

- コンピュータのネットワーク設定で、「TCP/IP」プロトコルのIPアドレスなどが正しく設定されていることを確認します。
- (2)「スタート」メニューから、「プログラム」 「MS-DOS プ ロンプト」を選択します。
- (3)「Ping」コマンドで、接続先のコンピュータのIP アドレスを 指定し、通信できることを確認します。

コマンド入力例 C:¥WINDOWS>ping xxx. xxx. xxx. xxx xxx. xxx. xxx. o部分には、接続先のコンピュータの IP アドレスを入力します。 (4) 正常に通信ができている場合には、次のように表示されます。ここでは、接続先のコンピュータのアドレスを、「192.168.1.149」としています。

600 • 🗆 🖦 📾 🛃 🗛
Wicrosoft(R) Windows 98 (C)Copyright Microsoft Corp 1981-1999.
C:#WINDOWS>ping 192.168.1.149
Pinging 150.07.20.139 with 32 bytes of data:
Reply from 192,168,1,149: bytes=32 time=8ms TTL=128 Reply from 192,168,1,149: bytes=32 time=4ms TTL=128 Reply from 192,168,1,149: bytes=32 time=3ms ITL=128 Reply from 192,168,1,149: bytes=32 time=3ms ITL=128
Ping statistics for 192.168.1.149: Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = D (DX loss), Approximate round trip times in milli-seconds: Minimum = 3ms, Maximum = 8ms, Average = 4ms
C:+VINDOWS>

2.3 ホットスワップ(活線挿抜)に関 するご注意

2.3.1 コンピュータへの取り付け

Windows 98/Meはホットスワップ(活線挿抜)をサポートしていま すので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品をPCカード スロットに挿入することができます。

 「CentreCOM WR211PCM plus」の文字が印刷された面を 上にして、本製品をコンピュータのPC カードスロットに 挿入し、カチッと手応えがあるまで押し込んでください。



- (2) 本製品を PC カードスロットに挿入すると、Windows 98/ Me は Plug & Play機能により本製品を検出します。
- 2.3.2 コンピュータからの取り外し

Windows 98/Meはホットスワップ(活線挿抜)をサポートしていま すので、コンビュータの電源をオンにした状態で本製品をPCカード スロットから取り外すことができます。ただし、コンビュータの電源が オンの状態で本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順で行ってく ださい。



以下の手順を守らなかった場合、コンピュータのハングアップ や、Windows 98/Me ファイルの破壊を招恐れがあます。 また、以下の手順をお守いにたたかないで起こった障害に関 してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

 ネットワークと通信を行っているアプリケーション、例えば Internet Explorer、Netscape Navigator、Telnet やデータ ベースアプリケーションなどをすべて終了してください。 「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、 すべて切断してください。

(2) タスクバーの PC カードアイコン(通常デスクトップ右下) をクリックします。



(3)「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card の中止」が表示されたら、パーをクリックします。



(4) 「OK」ボタンをクリックします。

Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card	\times
تە ج ېزاكىلىچۈدىھەللام ال اغۇ. رەر مەركىيە	

(5) コンピュータの PC カード取り外しボタンを押してください。本製品は、PC カードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。

2.4 **アンインストール**

本製品をシステムから削除するには「Uninstaller」を実行します。 「Uninstaller」を実行すると、本製品のドライパーとユーティリティー プログラムの両方が削除されます。

2.4.1 「Uninstaller」を実行

 (1)「スタート」メニューから「プログラム」 「CentreCOM WR211PCM plus」 「Uninstaller」を選択します。



(2) 次のダイアログが表示されたら、「Yes」ボタンをクリックします。



(3) 「OK」ボタンをクリックします。



(4)「OK」ボタンをクリックします。Uninstaller プログラムは終 了します。



2.4.2 本製品の取り外しの確認



本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分(水道の蛇 ロ、ドアノブ等)に触れて体内の静電気を放電してください。 この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に 触れないようにしてください。

 タスクバーにPCカードアイコンが表示されているかどうか を確認します。タスクバーにPCカードアイコンが表示され ている場合は、アイコンをダブルクリックします。



(2) 本製品が挿入されているソケットを選択し、停止ボタンをク リックします。



(3) 「OK」ボタンをクリックします。



(4) 本製品が挿入されているソケットが「空」と表示されている ことを確認し、「OK」ボタンをクリックします。

PC カード (PCMCIA)のプロパティ III IX
ソケットの状態 設定
PC カードを取りはずすには、一覧から選択して [停止] をクリッ カルズ(ださい)①
(空) - ジケット (空) - ジケット 2
(\$)
☑ タスク いー」とにコントロールを表示する(H)
▶ 停止前○ ドが取りはすされたら、警告を表示する(D)
OK トレキャンセル 適用(心)

(5) コンピュータの PC カード取り外しボタンを押してください。本製品は、PC カードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。

2.5 トラブルシューティング

ここでは、本製品使用中のトラブルの代表的な例と、その対処方法 について説明します。主な現象ごとに、その原因と対応方法を説明 していますが、よく分からない場合には、次の手順で本製品の状態 を確認しながら、トラブルを解決してください。

1 PWR (Power) LED は点灯していますか?

- 2本 製品のドライバーが正しくインストールされています か?
- 3本製品の設定は正しいですか?
- 4 本製品を取り付けたコンピュータのネットワーク設定は正 しいですか?



以下の手順は本製品を PC カードスロッHこ取り付けた状態 で行ってください。

2.5.1 PWR (Power) LED が点灯していない

コンピュータに認識されない

本製品がコンピュータに正しく取り付けられていないと、コンピュー タに認識されず、本製品のドライバーが自動的にインストールされな い、PCカードが検出されないなどの現象が発生します。

原因 1

本製品が、コンピュータの PC カードスロットの奥まできちんと挿入されていない。

対応方法

「Power LED」が点灯していないような場合は 「2.3 ホットスワッ プ(活線挿抜)に関するご注意」(p.21)を参照し、本製品をコン ピュータに正しく取り付けてください。



コンピュータの機種によっては、本製品を PC カードスロットに 挿入するときに、挿しにくい場合もありますが、本製品は、PC カードスロットの奥までしっかりと押し込むようにしてください。 (奥までしっか)挿されていないと、本製品が認識されないに とかあります。)

原因 2

コンピュータの PC カードスロットが故障している。 対応方法

・PC カードスロットを複数装備しているコンピュータをご使用の場合 は、違うスロットに取り付けて、本製品がコンピュータに認識される ことを確認してください。

・別のコンピュータがある場合は、別のコンピュータの PC カードス ロットに本製品を取り付けて、コンピュータに認識されることを確認 してください。

2.5.2 ドライバーが正しくインストールされて いない

「デバイスマネージャ」に本製品が正しく表 示されない

「 デパイスマネージャによるインストールの 確認」(p.11)にし たがって確認を行うと、「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」アイコンが以下のようになっている場合は、ドライバーのイ ンストールに失敗しているために、次のような現象が発生します。

- 「ネットワークアダプタ」の項目がない
- 「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまった
- デバイスマネージャで「!」「?」マークが付く
- ・「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card 」アイコンが 2 つ以上ある

原因

本製品のドライバーが正しくインストールされていない。



「ネルワークアダブタ」の項目がないとか、本製品のアイコンが「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまう原因として、ドライバーのインストール中に行われるWindows 98/Me 関連ファイルのインストールをキャンセルしてしまった場合などが考えられます。

対応方法

本製品のドライバーを一旦削除し、新たにインストールしなおしま す。以下の手順を実行してください。

- (1) 不正にインストールされた「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card 」アイコンを選択し、「削除」ボタンをク リックします。
- (2)「2.1 インストール」(p.10)の手順にしたがって、ドライ バーをインストールしなおしてください。

デバイスマネージャで「×」が付く

原因

デバイスが「使用不可」に設定されている。 対応方法 次の手順にしたがって、「Allied Telesis WR211PCM plus LAN

Card 」を「使用許可」の状態に切り替えます。

- 「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card 」を選択(反 転表示)し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「全般」タ ブを表示します(「 デバイスマネージャによるインストー ルの確認」(p.11)参照)。
- (2)「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルで 使用不可にする」のチェック「✓」を外してください。

PCMCIA コントローラが正しく表示されない

「 デパイスマネージャによるインストールの確認」(p.11)にしたがってインストールの確認を行った際に、「PCMCIA ソケット」の下に表示される PCMCIA コントローラのアイコンに「?」、「!」のマークが付いている場合は、PCMCIA コントローラが正しくインストールされていません。

原因

本製品のドライバーは、PCMCIA コントローラと協調して動作しま す。そのため、PCMCIA コントローラが正しくインストールされてい ない状況では、本製品のドライバーは動作することができません。



ご使用のコンピュータの PCMCIA コントローラ専用ドライバー が、フロッピーディスクなどで提供されていることがあります。 以下で説明する手順を実行する前に、必ずご使用のコン ビュータのマニュアルを確認、そのマニュアルに記載されて いる手順で PCMCIA コントローラの再インストールを行ってく ださい。また、専用のドライバーが提供されていない場合は、 どのようなドライバーがインストールされているかを記録した後 (下記参照)、以下の手順を実行してください。



このようなときは、Windows 98/Me のシステムレポート出力機 能を利用すると便利です。レポートを出力するには、「コント ロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と たどり、「印刷」ボタンをクリックします。「レポートの種類」 では「すべてのデバイスとンステムの概要」を選択し、以後 画面の指示にしたがってください。



CardBus 対応のコンピュータ機種には、使用する PC カード に応じて 2 種類(16bit/32bit)の PCMCIA コントローラを切 り替えなければならない ものがあますのでご注意ください。 詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルもしくは、コン ビュータのメーカーにご確認ください。

対応方法

次の手順を実行し、PCMCIA コントローラ用ドライバーをインストールし直します。

- (1)「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネージャ」と進みます。
- (2)「PCMCIA ソケット」の下にある PCMCIA コントローラを 選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。
- (3)「デバイス 削除の確 認」ダイアロ グが表示 されます。「OK」 ボタンをクリックしてください。
- (4)「デバイスマネージャ」から「PCMCIA ソケット」のアイコンが消えていることを確認します。
- (5) Windows98を終了し、コンピュータの電源をオフにした後、 本製品を PC カードスロットから取り外します。
- (6) 再びコンピュータの電源をオンにします。「コントロールパネル」ウィンドウを表示し、「PCカード (PCMCIA)」アイコンが消えていることを確認します。

Plug & Play 機能により、ドライバーを自動的に読み込んでしまうコンピュータ機種もあります。

- (7)「ハードウェアの追加」アイコン(コントロールパネル)を ダブルクリックしてください。「ハードウェアの追加ウィ ザード」が起動したら、「次へ」ボタンをクリックしてくだ さい(「ハードウェアウィザード」の実行には数分の時間が かかります)。
- (8)「はい(通常はこちらを選んでください)」を選択し、続く2 つの質問に対して「次へ」ボタンをクリックして進みます。 最後に「完了」ボタンをクリックしてハードウェアウィザー ドを終了してください。
- (9) 続いて、自動的に「PCカード(PCMCIA)ウィザード」が 起動します。表示されるメッセージにしたがって操作してく ださい。

リソース値重複の回避

前述の 手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「?」「!」マークが付いていること があるかもしれません。

原因

他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

対応方法

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品 とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソー ス値を Windows 98/Me に予め登録(「予約」と呼びます)し、そ の値が他の Plug & Play 対応デバイス(本製品を含む)によって使 用されないように設定することで、値の重複を回避できます。

- Plug & Play非対応の拡張アダプターが使用するリソースの 値(インタラプト(IRQ) I/Oペースアドレス、メモリ、ダ イレクトメモリアクセス(DMA))を調べておきます。詳細 は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。また は、メーカーにお問い合わせください。
- (2)「コントロールパネル」 「システム」 「デパイスマネー ジャ」 「コンピュータ」 「コンピュータのプロパティ」 パネル 「リソースの予約」と進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加」ボタンをクリックします。 画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録して ください。

2.5.3 本製品の設定が正しくない

本製品を取り付けたコンピュータ同士で通信 ができない

本製品の設定がコンピュータ同士で異なっていると、正しく通信がで きません。

次に説明する原因と対応方法を参照して、「Configuration Utility」 で、正しく設定し直してください。

原因	対応方法
「通信モード」は 「AdHoc」ですか?	本製品を取り付けたコンピュータ 同士で通信を行うには、「通信モー ド」を「AdHoc」に設定します。
「暗号」設定は、合って いますか?	本製品を取り付けたコンピュータ の暗号設定は、同じ設定にします。
「チャンネル」の設定は 合っていますか?	本製品を取り付けたコンピュータ の「チャンネル」は、同じチャン ネルを設定します。

アクセスポイントを使用して通信できない

本製品を取り付けたコンピュータとアクセスポイントが接続できない と 通信はできません。次に説明する原因と対応方法を参照して、 「Configuration Utility」で、正しく設定し直してください。

原因	対応方法	
無線アイコンが 🔍 0	D場合	
アクセスポイントの電 源は入っていますか	アクセスポイントの電源をオンに してください。	
アクセスポイントが、 見通せる位置に設置さ れていますか?	本製品を取り付けたコンピュータ とアクセスポイントの距離を近づ けたり、障害物をなくして見通し を良くしてください。	
無線アイコンが 📶 の場合		
「通信モード」は 「Infrastructure」です か?	アクセスポイントを使用して通信 を行うには、「通信モード」を 「Infrastructure」に設定します。	
「SSID」の設定は、 合っていますか?	本製品を取り付けたコンピュータ とアクセスポイントの「SSID」に は、同じ文字列を設定します。	
「暗号」設定は、合って いますか?	本製品を取り付けたコンピュータ とアクセスポイントの暗号設定は、 同じ設定にします。	

アクセスポイントの設定方法につきましては、アクセスポイント付属のユーザーマニュアルをご覧ください。

2.5.4 本製品を取り付けたコンピュータのネッ トワーク設定が正しくない

「ネットワークコンピュータ」に他のコン ピュータが表示されない

原因 1

ネットワークの設定が正しくない。

対応方法

「 「NetBEUI」を使用した、ファイルなどの共有」(p.17)を参 照し、必要なプロトコルがインストールされているか、コンピュータの 識別情報が正しく設定されているか、共有設定が正しくなされてい るかを確認し、正しく設定し直します。

原因 2

TCP/IP プロトコルがインストールされていない。または設定が正しくない。

対応方法

「 「TCP/IP 」プロトコルを使用」(p.18)を参照し、TCP/IP の 設定を確認します。

原因 3

ネットワークパスワードを入力していない。

対応方法

コンピュータを再起動して、ネットワークパスワードを入力します。

本製品を取り付けたコンピュータ同士、また はアクセスポイントと通信ができない

原因 1

TCP/IP プロトコルがインストールされていない。または設定が正しくない。

対応方法

「 「TCP/IP」プロトコルを使用」(p.18)を参照し、TCP/IPの 設定を確認します。

原因 2

電波状態が悪い

対応方法

本製品を取り付けたコンピュータ間の距離を短くしたり、障害物をな くして見通しを良くしてから、再度通信してください。

2.5.5 正常に動作しない

原因 1

ご使用のコンピュータのパワーマネージメント機能、サスペンドレジューム機能が動作している。

対応方法

パワーマネージメント機能、サスペンドレジューム機能の設定をオフ (無効)にしてください。(詳細については コンピュータのマニュ アルを参考にしてください。)

3 Windows NT 4.0

3.1 インストール

本製品を Windows NT 4.0 上にインストールする手順を説明します。

本書では、下記の条件を仮定したインストール例を示します。

- ネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク 環境は全くインストールされておらず、これからインストー ルする
- Windows NT Workstation Ver. 4.0を使用し、Windows NT が要求する問い合わせに対して、基本的にデフォルトで答え る
- サービスパック3以上がインストールされている

インストールは、次の2段階の手順で実行してください。

- 1 本製品のユーティリティープログラムをインストールする
- 2 コンピュータの電源をオフにしてから、本製品を取り付け、 コンピュータを再起動する

3.1.1 インストール時のご注意

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。 各操作・設定の手順については Windows NT のマニュアル・ヘル プをご覧ください。



Windows NT のハードウェア互換性リス(Windows NT パッ ケージに同梱されています)に挙げられていないコンピュータ 機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任におい てご使用ください。それらのコンピュータ機種で本製品をご使 用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただ きますのであらかじめご了承ください。



Windows NT では、活線挿抜 (コンピュータの電源をオンに したままで、カードの抜き差しを行うこと)はできません。本製 品の取り付け、取りかしを行う際には、必ずコンピュータの電 源がオフになっていることをご確認ください。誤って活線挿抜 を行った場合に起こった障害に関しては、ユーザーサポート の対象外とさせていただきますので、ご了承ください。



PC98-NXシリーズにインストールされた Windows NT のたとで 本製品をご使用になる場合、NEC によって保証されていな いインストール環境でのご使用は お客様の責任において 行ってください。それらの環境で本製品をご使用になる場合 は ユーザーサポートの対象外とさせていただきますのであら かじめご了承(ださい)。



本製品のインストールをWindows NT のインストールと同時に 行うことは避けてください。必ず、Windows NT のインストー ルを完了したあとで、本製品のインストールを行ってください。 Windows NT は Plug & Play をサポートしていないため、 Windows NT と本製品のインストールを同時に行うと、 Windows NT のインストール中に本製品が使用するハード ウェアリソースが他のデバイスと重複するおそれがあり、重複 の回避に手間取ることがあります。



以下にあげる手順は一例です。お客様の環境によっては、 、手順や表示画面が異なることがあります。

3.1.2 インストールを始める前に

用意するもの

- ・WR211PCM plus カード本体
- コンピュータ(Windows NT 4.0、<u>サービスパック3以上の</u> インストール済み)
- ・「セットアップユーティリティーディスク」2枚
- ・Windows NT のCD-ROM
- ・Windows NT サービスパック (<u>サービスパック3 以上</u>)



Windows NT が、コンピュータ購入時にあらかじめインストー ルされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版 である場合は、Windows NT のバッグアップ CD-ROM が付 属しているかどうかをご確認ください。バッグアップ CP-ROM が付属していない場合は、安全のため必ずフロッピーディス ク等に Windows NT のバッグアップをとった後でやライバーの インストールを開始してください。バッグアップの手順について は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧になるか、コン ビュータメーカーにご確認ください。



ハードディスク内のデータは、必ずフロッピーディスク等にパックアップをとった後で、ドライバーのインストールを開始してください。特に重要なデータについては、必ずバックアップをとられることをお勧めします。

おた、いかなる場合でも、データが消失または破損したことに よる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますの で、あらかじめご了承ください。

サービスパックの確認

本製品をインストールする前に、Windows NTのサービスパックが インストールされているかを確認してください。確認の手順は次の 通りです。

(1)「スタート」メニューから、「プログラム」 「管理ツール」Windows NT 診断プログラム」を選択します。

711754(P)	● 宿 若理?=ル (共通)	Windows NT 設施7泊グラム
	,	 団 イマカドビニア ゴンスカドビスカルラ ゴンパカプ ゴンプロマンスモンタ 型 ニッジーマネージキ 具 バートアクセン管理
₩77700-		

(2)「パージョン」タブに表示される、「Service Pack」の数字を 確認します。



表示が「Service Pack 3」以上であることを確認します。 本製品のインストール後、<u>コンビュータを再起動する前には、必ず、</u> サービスパックの再インストール(確認したのと同じサービスパック をインストールする)を行ってください。サービスパックをインストー ルせずにコンピュータを再起動すると、Windows NT が起動できな <u>くなることがあります。</u>

リソースの確認

Windows NTは、Plug & Playをサポートしていないため、本製品 が使用するリソースの値を設定しなければなりません。そのために、 ドライバーをインストールする前に、リソースの空き状況を調べる必 要があります。

本製品のドライバーが使用するリソースの工場出荷時の値が 既に他 のデバイスによって使用されている場合は、本製品の設定を変更し ます。本製品の設定を変更するには、「3.1.3 ユーティリティープロ グラムのインストール」(p.27)の手順に従いユーティリティープロ グラムをインストールした後、コンピュータに本製品を取り付けない で再起動し、「アダプタ」の「プロパティ」でリソースの値を変更し ます。(「3.4 トラブルシューティング」(p.33)「3.4.1 正しく動作 しない」の原因2 参照)

本製品のドライバーが使用するJソースの、工場出荷時の値は次の 通りです。

- ・「IRQ (インタラプト)」 10
- ・I/Oポート(I/Oベースアドレス) 0x300

リソースの空き状況は、次の手順で調べます。

- (1)「Windows NT 診断プログラム」の「リソース」タブをク リックします。
- (2)「IRQ」ボタンをクリックし、インタラプトの空き状況を確認します。

- Windows NT 診断7泊ゲラ。	4 - ¥¥FMV5133	х
ファイル(E) ヘルフ*(H)		_
パージョン システム ディスアルイ	「ドライブ」メモリ サービス リソース 環境 ネットワーク	
	HAL リソースを含める(H) 🗖	
IRQ デバイス	パス 種類	
01 i8042prt 04 Serial	0 ISA 0 ISA	
06 Floppy	0 ISA	
12 18042prt 12	0 ISA 0 ISA	
15 atapi	0 ISA	
1RQQ 1/0 #*	-F@	
7 th (\ ^t Fz(P)	最新の結報□=更新(R) 「FIB(N) ○K	
7 87 74527	REALCONNERS CREATION CONNERS	

(3)「I/O ポート」ボタンをクリックし、I/Oベースアドレスの空 き状況を確認します。

i-990 9274	742764 1517 4	ジ サービス リソース 環球	1 2010-0
		HAL ዛን-	・スを含める(出) [
71-12.2	デバイス	パス	_ 種類 _ ▲
0060 - 0060	8042prt 8042prt	U	ISA ISA
0170 - 0177	atapi	ů	ISA
01CE - 01CF	VgaSave	0	PCI
UTFU - 01F7	atapı atapi	0	ISA ISA
0378 - 037A	Parport R	0	ISA
03B0 - 03BB	VgaSave	õ	PCI
03C0 - 03DF	VgaSave	0	PCI
103C4 - 03C5	FsVga FsVga	0	
U3D4 - U3D4	FSVga	ŏ	内部
03D5 - 03D5	FsVea	0	内部
USFU - USF5	Floppy	U	ISA 🔽
intern - ittern	alau		
IRQØ	1/0 #~->0	MA(D) メモリ(M)	781200
1.00.0			1.111/0



コンピュータにあらかじめ組み込まれているデバイスの中には 「Windows NT診断プログラム」上に表示されないものもあり ます。コンピュータのマニュアルと「Windows NT診断プログ ラム」の両方を用いて確認を行ってください。

- (4) 「Windows NT 診断プログラム」を終了します。
- 3.1.3 ユーティリティープログラムのインス トール
- (1) 本製品をコンピュータのPCカードスロットに取り付けない で、コンピュータの電源をオンにし Windows NT を起動し ます。
- (2)「Administrator」またはAdministrators グループのユーザー 名でログオンします。

(3) ユーティリティープログラムをインストールする前に、コン ビュータの起動処理が終了していることを確認してくださ い。起動処理が終了していないと、正しくインストールでき ません。起動処理の終了を確認するには、「コントロールパ ネル」の「ネットワーク」を起動します。エラーが表示され ずに「ネットワーク」が表示されれば、起動処理は終了して います。



ユーティリティープログラムのインストール中にエラーが表示された場合は、本製品のインストールが正しく終了していません。

(4)「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を 選択します。



(5)「セットアップユーティリティーディスク 1of2」をフロッ ビーディスクドライプに挿入し、「名前」に「A:¥Setup.exe」 と入力し、「OK」ボタンをクリックします(ここではフロッ ビーディスクドライブを「A:」、AT互換機を仮定します)。

ファイル名を	指定して実行
żΞ.	実行したい779ケーション名、または開きたい7845からキュメクト名を 入力してください。
名前(2):	A¥Setup.exe
	(CKT) キャンセル 参照(E)

(6)「Setup」プログラムを実行する前に、他のプログラムを終 了し、「次へ」ボタンをクリックします。



(7)「ソフトウェア使用権許諾契約書」の内容を確認し、「はい」 ボタンをクリックします。

アトウェア使	用許諾茲	黝					×
	以下の例 Page Doi	用許諾契約 n キーを押し	きお読み て下さい	下さい、契 '	約の残りの)部分を読	ucia.
制客様は 場合は た場合、	がこの使用 「いいえ」 契約書	権許諾契約 を押してく 同意して琴	り書に同意 ださい。 契約が成立	される場合 お客様が したものと	は「はい」 はい」 ボ: : いたしま	」を、同意 タンをクリ す。	できない・
		ソフ	トウェアは	も用権許諾	契約書		
7ライ 、下記3	ドテレシス 製項に基づ	(株式会社) き非譲渡	t、本契約 tの非独占	書とともに 的権利を詳	提供する 諾します。	ソフトウェ '	ア製品を
1. 定義	i						
ホソフ ・本ブ	トウェアと ログラム	は、以下の)2つを言	います。			-
- 前述の使 と、転用 契約に同	U用許諾製 かりは中 同意いただ	約のすべて 上されます。 く必要があ	の条項に CentreDi ります。	司意します JM WR211PC	か?[lil Miplus を	ヽえ】がりかき (ノストールする	選択する には、この
				く戻る(Idu	(V) N	いいえ(<u>N</u>)

(8)「SSID」を設定し、「次へ」ボタンをクリックします。 アクセスポイントを使用して通信を行う場合は、アクセスポ イントと同じ SSIDを設定してください。また、SSID は、セ キュリティ確保のためにも、独自の SSIDを設定してください。。

SSID の入力	×
	() 「) 「) 「) 「 す う た が () () () () () () () () () () () () ()

(9)「通信モード」を設定し、「次へ」ボタンをクリックします。 アクセスポイントを使用して通信を行う場合は、 「Infrastructure」を、無線LANカード同士で通信を行う場合は、「AdHoc」に設定します。



(10) ユーティリティープログラムのインストール先を指定します。表示されているインストール先を変更したい場合は、「参照…」ボタンをクリックし、変更先を指定します。インストール先が決まったら、「次へ」ボタンをクリックします。



(11) ファイルのコピーが始まります。次のダイアログが表示されたら、フロッピーディスクを「セットアップユーティリティーディスク20f2」に交換し、「OK」ボタンをクリックします。



(12)「Configuration Utility をスタートアップに登録しますか?」 と聞かれたら、通常は「はい」をクリックします。 「Configuration Utility」は、Administrators グループのユー ザーだけが使用することができます。Administrators グルー プ以外のユーザーも本製品を使用する場合は、「いいえ」を 選択します。



(13) ネットワークがインストールされます。Windows NTの CD-ROM が要求されますので、CD-ROM をCD-ROM ドライブ に挿入し、「OK」ボタンをクリックします(ここでは CD-ROM ドライブを「D:」AT 互換機を仮定します)。

Insert Windows NT CD	X
	イルトールには、Windows NT のCDを必要とします。 CDをドラインにしれるか、CDの内容が格納されてしるが2名
-	老人力して下さい。
	D:¥i386
	参照(<u>B</u>)
~	
æ 19	
	〈 戻る(医(())太不(田))) キャンセ



CDの内容がハードディスクにコピーされている場合には、そのパス名を入力します。

(14)「DHCPを使用するか?」と聞かれたら、「いいえ(デフォル ト設定)」ボタンをクリックします。

TCP/IP	₹7\$77* 🛛
⚠	キタリック して ロゼロ サーバ・バカネス場合は 動物に P アパッズを提供するように 10つかで 表現ホインガンでをます。イマ明は場合は、ジラム管理者におい合わせてく ださい い DHCP を使用しますか? は、VC (区域 法文化)

(15)「TCP/IP」の設定を行い、「OK」ボタンをクリックします。 実際には、ご使用の環境にあった設定をしてください。

Microsoft TCP/IPのプロパティ ? × IP アドレス DNS WINS アドレス [ルーラング]
DHOP サーバーから IP アドレスを取得し、このネッパワーりアダプラ カードに自動的 に割り当てることができます。ネッパワーガニ DHOP サーバーがない 場合は、 ネッパワーが管理者にアドルえを聞い合わせて、そのアドレスを下のボックスに入力し てください。
7ኝን%(ዊ).
[1] Allied Telesis WH21TPCM plus LAN Card ▼ O DHCP サーパーカルら IP アドリスを取得する(Q)
77 中川 10 200 200 00 デウオルト ケートウェイ(③):

(16) ユーティリティープログラムを使用する前に、コンピュータ を再起動する必要があります。ここでは、「いいえ、後でコ ンピュータを再起動します。」を選択し、フロッピーディス <u>クドライブからディスクを抜き、</u>「完了」ボタンをクリック します。



- (17) ここで必ず、サービスパック3以上をインストールし直して ください。
- (18)「スタート」メニューから、「シャットダウン」「コンピュー タをシャットダウンする」をクリックし、コンピュータの電 源をオフにします。

3.1.4 コンピュータへの取り付けと再起動



本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分(水道の蛇 ロ、ドアノブ等)に触れて体内の静電気を放電してください。 このとき、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対 に触れないようにしてください。

 「WR211PCM plus」の文字が印刷された面を上にして、本 製品をコンピュータの PC カードスロットに挿入し、カチッ と手応えがあるまで押し込んでください。



コンビュータの機種によっては、下に向けて装着するものもあ ります。間違って装着した場合、本製品やご使用のコン ビュータの故障の原因となますので、PCカードの装着に関 しては、必ず、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧くだ さい。

(2) コンピュータの電源をオンにします。



本製品のインストール後、初めて本製品をコンピュータに取り 付けて再起動したときに、「コンピュータが正しく起動しない」 などの問題が発生した場合は、本製品のリソースが別のデ バイスと競合していることが考えられます。「3.4 トラブル シューティング」(p.33)の「3.4.1 正しく動作しない」の原 因2を参照して、リソースの設定を変更してください。

3.1.5 インストールの確認と本製品の設定

コンピュータの再起動後、まず本製品が正しくインストールされてい ることを確認してから、本製品の設定を行います。

リソース値の確認

コンピュータを再起動すると、本製品に対してリソース(I/Oアドレス、インタラプト)が割り当てられます。割り当てられた値を確認す るには Windows NT 診断プログラムをご使用ください。手順は次 の通りです。

- 「Administrator」または Administrators グループのユーザー 名でログオンします。
- (2)「スタート」メニューから「プログラム」「管理ツール」 「Windows NT診断プログラム」を選択します。

(3)「リソース」タブをクリックし、「IRQ」ボタンをクリックして、インタラプトの値を確認します。

バージョン	9274 792714	100	<u>2 62 99-</u> 2	帰り	ネットワーク
-			HA	レリソースき	(含める(出) 🗖
IRQ	デバイス			パス	種類
04	Serial			0	ISA
10	Floppy CWID.			0	ISA ISA
12				ŏ	ISA
14	at pu vapi			0	ISA
	_				
V					
A					
TO	00 I/O #	(T) DMA(I))) オビバ	90 II.	- デバイス(V)

(4)「I/O ポート」ボタンをクリックして、I/Oペースアドレスの 値を確認します。

(ージョン) システム	ディスフペレイ ト・ライフィー ル	ノ サービス リソース 環境	竟 【ネットワーク】
		HAL 맛가	- スを含める(出) 匚
アドレス	デバイス	パス	種類 ▲
0060 - 0060	i8042prt	0	ISA
10064 - 0064	i8U42prt	0	ISA DA
0105 - 0105	atapi VanShuo	0	10M PCT
BIOL BIOI	VBGCGVD	ň	ISA
0300 - 033F	CW10 N	ō	ISA
000		0	ISA
037 037A	Parport	0	ISA
03B - 03BB	VgaSave	U	PCI
103CE - 03DF	Vgabave Fol/m	U	PUI L
103CE - 03CE	FsVea	ŭ	内部
03D4 - 03D4	FsVga	õ	内部
03D5 03D5	FsVga	Ó	内部
LOSED 03E5	Elenner	0	ISA 💌
			1
IRQQ	1/0 ポート①) D	MA(D) /刊(M)	デバイス(V)

アダプターの確認

(1) 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブ ルクリックします。 (2)「アダブタ」タブをクリックし、「ネットワークアダブタ」に、 「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」が表示されて いることを確認します。

7年7 8月 【サービス】 2月日 - 5月	۲ ایر ۵ (۲۵۶۶ م)
ES[1] Allied 1	elesis WR211PCM plus LAN Card
追加(<u>A</u>)	削除(B) 7泊ハティ(B). 更新(U)
Allied Telesis	WR211PCM plus LAN Card
	OK N キャンセル

本製品の設定

(1) タスクバーに表示されている無線アイコンをクリックします(ここでは「アクセスポイント検索中」のアイコンを例とします)。



無線アイコンが表示されていない場合は、「スタート」メ ニューから「プログラム」 「WR211PCM plus」 「Configuration Utility」を選択すると、無線アイコンが表示 されます。

(2) 本製品の設定を行います。「2.2.1 本製品の設定」(p.14)を 参照し、「アクセスポイントを使用してネットワーク接続 する場合」または「本製品を取り付けたコンピュータ同 士をネットワーク接続する場合」の設定を行ってください。

3.1.6 本製品を使用しないとき

本製品のインストール後、一時的に本製品を使用しないとき、例え ば本製品をコンビュータから取り外す場合などは、ドライバーをアン ロードしてください。ドライバーがロードされたままにしておくと、 Windows NT はこれらの現象をネットワークのエラーとして検出し、 イベントビューアによる警告が表示されるようになります。この現象 はドライバーをアンロードする(バインドしない)ことによって回避で きます。

- 「Administrator」または Administrators グループのユーザー 名でログオンします。
- (2)「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブ ルクリックします。

(3)「バインド」タブをクリックし、「バインドの表示」で、「す べてのアダプタ」を選択します。

ληトワ−り BI⊠
識別 サービス プロトコル アダスを パインド
ネットワークのパイパーとは、このコピューク」にインストールされているネットワークカード 、フロコム、あよびラサンプ語の投稿ないとです。このパーンを使って、ネットワーク のパイパを強いコールド、このコピューのパネックーク上で情報を検索する。順序 を変更することができます。
パイパの表示(S) すべてのす。ビス ▼
田
OK キャンセル

 (4) 本製品のアイコン「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」を選択し、「無効」ボタンをクリックして、「パイン ドしない」設定をします。

ネットワーク
キャトワークのパインドは、このコピュータ上にインストールされているキャトワークカード 、フロコム、あたびサビス間の接続のことです。このページを使って、キャトワーク のパインを無知ったり、このコピュータバキャドワーク上で情報を検索する、順序 を変更することができます。
パイル「の表示(5): すべての7575 💌
$\begin{array}{c} (\blacksquare = \forall p \mid \lambda) \operatorname{Allect} \operatorname{Icons} \operatorname{Mest Device prior } \operatorname{An Cerel} \\ = & \neg \cdot \cdot \circ \cdot \circ$
有効(2) (無効(2) 人) 上へ(2) 下へ(2)
OK キャンセル

(5) 使用を再開する場合は、本製品のアイコンを選択し、「有効」 ボタンをクリックします。

識別 サービス フロトコル アタフラ パインド
ネックークのハイルドとは、このコピュータ上にインストールされているネックークカード 、フロコム、およびラービス間の接続のことです。このハトーンを使って、ネックーク のパイルを運动したり、このコピューがパネック・クトアで値軸を検索する。通序 を変更することができます。
バインドの表示(S) すべてのアタフ物 ▼
$ \begin{array}{c} \bigcirc & \bigcirc $
(有効℃ ▶ 無効型 上へ型 下へ型) ○K キャンセル

3.2 アンインストール

本製品をシステムから削除するには「Uninstaller」を実行します。 「Uninstaller」を実行すると、本製品のドライバーとユーティリティー プログラムの両方が削除されます。

- 「Administrator」または Administrators グループのユーザー 名でログオンします。
- (2)「スタート」メニューから「プログラム」 「CentreCOM WR211PCM plus」 「Uninstaller」を選択します。



(3) 次のダイアログが表示されたら、「Yes」ボタンをクリック します。



(4) 「OK」ボタンをクリックします。



(5)「OK」ボタンをクリックします。Uninstaller プログラムは終 了します。



- (6)「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブ ルクリックします。
- (7)「パインド」タブをクリックすると、「パインドの格納」が行われます。



(8) 「OK」ボタンをクリックします。

\$917-9 R
識別 サービス フロトコル アタフラ パインド
キャトワークのパイパンは、このコピュータ上にインストールされているキャトワーカード 、フロコム、あたびサービス階の接続のことです。このパージを使って、キャトワーク のパイパを振りコーたり、このコピューがパネックーク上で情報を検索する。順序 を変更することができます。
パインドの表示(S): すべてのサービス
OK トレート・ンセル

(9)「コンピュータを再起動しますか?」と聞かれたら、「いい え」ボタンをクリックします。

ネットワーク設定の変更		
1	新しい設定を有効こするには、エピュージを再起動する必要があります。 今ずぐエビューダを再起動しますか? 「TIGTUTE」「しいえい。」	

(10)「スタート」メニューから、「シャットダウン」「コンピュー タをシャットダウンする」をクリックし、コンピュータの電 源をオフにします。



本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分(水道の蛇 口、ドアノブ等)に触れて体内の静電気を放電してください。 この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に 触れないようにしてください。

(11) コンピュータの PC カード取り外しボタンを押して、本製品 を取り外します。

3.3 本製品の取り付け・取り外し

Windows NT4.0の場合、本製品の PCカードスロットへの取り付け、 取り外しは 必ずコンピュータの電源をオフにしてから実行してくだ さい。



Windows NT では、活線挿抜(エンピュータの電源をオンに したますで、カードの抜き差しを行うこと)はできません。本製 品の取り付け、取りかしを行う際には、必ずコンピュータの電 源がオフになっていることをご確認ください。誤って活線挿抜 を行った場合に起こった障害に関しては、ユーザーサポート の対象外とさせていただきますので、ご了承ください。



本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分(水道の蛇 ロ、ドアノブ等)に触れて体内の静電気を放電してください。 この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に 触れないようにしてください。

3.3.1 PC カードの取り付け

文字が印刷された面を上にして、本製品をコンピュータのPCカード スロットに挿入し、カチッと手応えがあるまで押し込んでください。



コンピュータ機種によっては、下に向けて装着するたのためりま す。間違って装着した場合、本製品やご使用のコンピュー タの故障の原因となます。PCカード装着に関しては、必ず ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

3.3.2 PC カードの取り外し

コンピュータの PC カード取り外しボタンを押してください。本製品 は PC カードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。

3.4 トラブルシューティング

ここでは、本製品のインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処方法について説明します。

3.4.1 正しく動作しない

原因 1

サービスパック3以上がインストールされていない状態で、ユーティ リティープログラムをインストールしてから、本製品を取り付けてコン ビュータの電源をオンにすると、コンピュータが起動しないことがあ ります。

対応方法 1

この場合は コンピュータの電源をオフにしてから本製品を取り外し、コンピュータの電源をオンにして、サービスパック 3 以上をイン ストールしてください。

原因 2

リソースが別のデバイスと競合している。

対応方法 2

「 リソース値の確認」(p.30)を参照し、デバイス「CW10*」(* は番号)に正しくリソースが割り当てられていることを確認してくだ さい。正しく割り当てられていなかった場合は、次の手順に従って、 「IRQ(インタラプト)」「I/Oボート(I/Oベースアドレス)」の設定 を変更してみてください。「IRQ(インタラプト)」の推奨値は、次 の通りです。

- ・「AT 互換機および NEC PC98-NX シリーズ」
- 3、4、5、7、9、10、11、15
- ・「PC-9821シリーズ」 3、5、6、10、12

本製品のインストール後、初めて本製品をコンピュータに取り付けて 再起動した場合に、「コンピュータが正しく起動しない」などの問題 が発生した場合は、本製品をコンピュータから取り外してから、次の 手順を実行してください。

- 「Administrator」またはAdministrators グループのユーザー 名でログオンします。
- (2)「 リソースの確認」(p.27)の手順に従って、空いている リソースを調べます。
- (3)「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブ ルクリックし、「アダプタ」タブで「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」をクリックし、「プロパティ」 ボタンをクリックします。

λγŀ9−9 ? ⊠
翻別 サービス フロトコル アダフラ バインド
2010 1 1 1 1 NBC
1] Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card
追加(g). 新修道() フロム/ラー(2.) 更新(g)
項目の説明型
Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card
OK キャンセル

 (4)「I/O Base」、「IRQ Level」の値を、手順 (2)で調べた、空き リソースの値に変更し、「OK」ボタンをクリックします。



(5) コンピュータを再起動します。 本製品がコンピュータに取り付けられていない場合は、コン ピュータの電源をオフにしてから、本製品を取り付け、電源 をオンにしてください。

3.4.2 無線アイコンが表示されない

原因

エラーが発生し、「Configuration Utility」が起動できない。 対応方法

「Configuration Utility」は、Administrators グループ以外のユー ザーは使用することができません。「Administrator」または Administrators グループのユーザー名でログインし直してください。

3.4.3 正しくインストールされない

原因

本製品のユーティリティープログラムをインストールするときに、コン ビュータの起動処理が終了していないと、本製品は正しくインストー ルされません。

対応方法

本製品が正しくインストールされなかった場合には「3.2 アンイン ストール」(p.32)の手順に従って本製品をアンインストールします。 コンピュータの電源をオフにしてから本製品を取り外し、コンピュー タの電源を ON にします。コンピュータの起動後しばらく(5分程 度)待ってから、「3.1.3 ユーティリティープログラムのインストール」 (p.27)の手順に従って、もう一度インストールし直してください。

3.4.4 その他

その他のトラブルにつきましては、「2.5トラブルシューティング」 (p.22)を参照してください。 4 Windows 2000

4.1 インストール

本製品をWindows 2000に新規インストールする手順を説明します (ここでは、今までにネットワークアダプター用ドライバーをインス トールしたことがなく、今回初めて本製品のドライバーをインストール する場合の手順について説明します)。インストールは、次の2段 階の手順を実行してください。

- 1 本製品をコンピュータに取り付け、ドライバーをインストー ルする
- 2 ユーティリティープログラムをインストールする

アップデートインスト ールについて

すでに、Windows 98/95 で本製品を使用している状態から、 Windows 2000にアップデートする場合は「4.3 アンインストール」 (p.40)の手順に従い、ユーティリティープログラムとドライバーを削 除してから、「4.1 インストール」の手順を参考にして、本製品をイ ンストールし直してください。

4.1.1 用意するもの

- ・WR211PCM plus カード本体
- ・コンピュータ (Windows 2000 インストール済み)
- ・「セットアップユーティリティーディスク」2枚

4.1.2 コンピュータへの取り付け



本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分(水道の蛇 口、ドアノブ等)に触れて、体内の静電気を放電してください。このとき、ガス管など発火する危険性のあるものには、 絶対に触れないようにしてください。



以下にあげる手順は一例です。お客様の環境によっては、 手順や表示画面が異なることがあります。

- (1) 本製品をコンピュータのPCカードスロットに取り付けてい ない状態で、コンピュータの電源をオンにし、Windows 2000を起動します。
- (2)「Administrator」または Administrators グループのユーザー 名でログオンします。
- (3) コンピュータのPCカードスロットに本製品を挿入してください。

(4) Windows 2000 は Plug&Play 機能により本製品が PC カードスロットに挿入されたことを 自動的に検出し、「新しい ハードウェアの検出ウィザード」を起動します。「次へ」ボタンをクリックします。

新しいハードウェアの検出ウィザード	
	新しいハードウェアの検索ウィザードの開始
	このウィザードでは、ハードウェア デバイス用のデバイス ドライバのイン ストールを行います。
991	
	ボデオス/ゴナ じかんしまだいかし アノチない
	MITTARE DATE ENTROPOLITATION
	〈東部化 【次へ3025】 キャンセル

(5) 検索方法の「デバイスに最適なドライバを検索する」をク リックし、「次へ」ボタンをクリックします。

新しいハードウェアの検出ウィザード
ハードウェア デバイ、ドライバのインストール デバスドライソロ、ハーウユア デバスがオペレーティング システムで正しく動作するよび、設定する シントウェアプロクシムです。
次のデバイスをインストールします
Allied_Telesis_KK. WR211PCM_plus
デバイスのドライバはハードウェアデバイスを集合するシフトウェアプログラムです。新しくデバイスにはドラ イバダルを集です。ドライバ・ディイルの場所を指定してインストールを充了するには、じたく」を対っのしてくた ちい。
検索モニー ◎ デバイスに最適なドライバを検索する (獲要)(5)
○ このフィー・ハージョン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
·····································

(6)「検索場所のオプション」で、「場所を指定」のみをチェックし、「次へ」ボタンをクリックします。



(7) フロッピーディスクドライブに、セットアップユーティリティーディスクの1枚目を挿入します。「製造元のファイルのコピー元」に「A:¥WIN2000」と入力し、「OK」ボタンをクリックします(ここではフロッピーディスクドライブを「A:」、AT互換機を仮定します)。



(8)「このデバイスのドライバ」が「a:¥win2000¥netcw2k.inf」 と表示されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック します。



 (9) 次のようなダイアログが表示されることがありますが、その 場合は、「はい」をクリックしてインストールを続行します (Microsoft デジタル署名はありませんが、正常に動作しま す)。



(10)「完了」ボタンをクリックします。



- 4.1.3 ユーティリティープログラムのインス トール
- (1) タスクパーの「スタート」ボタンをクリックし、メニューから、「ファイル名を指定して実行」を選択します。
- (2) セットアップユーティリティーディスクの1 枚目をフロッ ビーディスクドライブに挿入し、「名前」に 「A:¥SETUP.EXE」と入力し、「OK」ボタンをクリックしま す(ここではフロッピーディスクドライブを「A:」、AT互換 機を仮定します)。

ファイル名	を指定して実行 ? 🛛
T	実行したいアプリケーション名、または聞きたいフォルダやドキュメント ターインカーネットリソース名を入力してください。
名前(2):	A¥SETUP.EXE
	OK トレーキャンセル 参照(B)

(3) セットアッププログラムを実行する前にほかのプログラム を終了し、「次へ」ボタンをクリックします。



(4)「ソフトウェア使用許諾契約」の内容を確認し、「はい」ボタンをクリックします。

771927(c)########
以下の使用許諾契約をお読み下さし、契約の残りの部分を読むには、 Page Down キーを押して下さし。
赤客蓮がこの使用権料理契約書に同意される場合は「はい」を、同意できない」 場合は「いいえ」を押してくたさい。お客種が「はい」ボタンをクリックされ」 た場合、契約書に同意して契約が成立したものといたします。
ソフトウェア使用権許諾契約書
アライドテレシス株式会社は、本契約書とともに提供するソフトウェア製品を 、下記条項に基づき非譲渡性の非独占的権利を詳結します。
1. 定義
本ソフトウェアとは、以下の2つを言います。 ・本ブログラム ▼
前述の使用評話契約のすべての条項に同意しますか?【いいえ】が勿を選択する と、いわって中止されます。CentreCON WR21PCM plus を有次回するには、この 契約に同意いただく必要があります。
<戻る(1) はい(Y) いいえ(N)

(5)「SSID」を設定し、「次へ」ボタンをクリックします。 アクセスポイントを使用して通信を行う場合は、アクセスポ イントと同じ SSIDを設定してください。また、SSID は、セ キュリティ確保のためにも、独自の SSIDを設定してください。。

SSID の入力	×
	無線LANG-トワーフをグルーブ分けするための識別IDです。同じ グループに登録されているPOは、同じSSIDにして下さい。 注:奴別バー上のコンフィグレーション・2ーティリティでSSIDを変更するこ
	SSID Dent reCOM VR211FCM
~	
- 9	
	< 実家(1) 次へ(10) > h)地

(6)「通信モード」を設定し、「次へ」ボタンをクリックします。 アクセスポイントを使用して通信を行う場合は、 「Infrastructure」を、無線LANカード同士で通信を行う場合は、「AdHoc」に設定します。



(7) ユーティリティープログラムのインストール先を指定します。表示されているインストール先を変更したい場合は、「参照」ボタンをクリックし、変更先を指定します。インストール先が決まったら、「次へ」ボタンをクリックします。



(8) ファイルのコピーが始まります。次のダイアログが表示されたら、フロッピーディスクをセットアップユーティリティーディスクの2枚目に交換し、「OK」ボタンをクリックします。

ጵወም ፈንሳወ	挿入 🛛
F	次のディスク(ディスク2)を挿入して下さい。このディスク ファイルが他のドラ行などにあろ場合は、そのバスをすべ て入力するか、または〔参照〕ギクを炒っりしてパスを選 択して下さい。
Λ°λ: A:¥SETUP	(参照(11))
	OK D T+jti

(9)「Configuration Utility をスタートアップに登録しますか?」 と聞かれたら、通常は、「はい」をクリックします。 「Configuration Utility」は、Administrators グループのユー ザーだけが使用することができます。Administrators グルー プ以外のユーザーも本製品を使用する場合は、「いいえ」を 選択します。

貿易	X
?	Configuration Utilityをスラードファンで登録しますか? Administrator 7%ープンドがなション・パッキャントのないでは、「ULIX」を選択して(それ、Configuration Utility (J. Administrator 7%ープンドのようと思考には、使用できまた。)

(10) ユーティリティープログラムを使用するには、コンピュータ を再起動する必要があります。「はい、直ちにコンピュータ を再起動します。」をクリックし、フロッピーディスクドラ イブからディスクを取り出し、「完了」ボタンをクリックし ます。



- (11) コンピュータが再起動すると、タスクパーに無線アイコンが 表示されます。
- 4.1.4 インストールの確認とネットワークおよ び本製品の設定

本製品のインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

デバイスマネージャによるインストールの 確認

- タスクバーの「スタート」ボタンをクリックし、メニューから、「設定」
 コントロールパネル」を選択します。「コントロールパネル」を選択します。
 トロールパネル」の「システム」アイコンをダブルクリックします。
- (2)「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」 ボタンをクリックします。
- (3)「ネットワークアダプタ」の下に
 「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」が表示されていることを確認します。



本製品のアイコンに「?」「!」などのマークが付いていた り、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下では なく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にあ る場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「4.4 トラブルシューティング」(p.40)をご覧ください。

- (4) 「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」をダブルク リックします。
- (5)「全般」タブで、「このデバイスは正常に動作しています。」 と表示されているのを確認します。



(6) 本製品が使用する I/O ベースアドレス、インタラプト(IRQ) などは、Windows 2000 によって自動的に設定されます。 「リソース」タブを表示すると、これらを確認することがで きます。

Allied Telesis Wi	R211PCM plus LAN Cardのプロ/	रिन 🛛 🕄 🗶
全般 詳細設定	ドライバ リソース	
Allied Allied	Telesis WR211 PCM plus LAN Card	
リソースの設定(B).	
リソースの種類	設定	
IRQ	10	
₩1/0 範囲	DFC0 - DFFF	
設定の登録:名(8)	現在の構成	v
	▶ 自動設定(1)	設定の変更(2)
競合するデバイス		
競合なし		4
		*
	L	OK ##2/2/

ネットワークの設定

本製品のインストールが完了したら、本製品を取り付けたコンピュー タのネットワーク環境の設定を行います。ここでは、インターネット の参照に必要となる TCP/IP の設定について説明します。 (1) タスクバーの「スタート」ボタンをクリックし、メニューから、「設定」「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選択します。「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

📴 ネットワークとダイヤルアゥブ接続	_ 🗆 ×
│ ファイル(E) 編集(E) 表示(√)	お気に入り(A) ツール(T) 詳細設定(N) ヘルプ(H) 🌆
←戻る - → - 主 @検索	ቬንታለኝ 🗿 🖉 📲 📽 🗙 📫 🗐 🖬
アドレス(①) 😰 ネットワークとダイヤルア	₽ップ接続 ▼ 🤌移動
	File File
🧾 指定された接続のプロパティを表示し	

(2) 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」 をクリックして設定を行います。

ローカルエリア接続のプロパティ
Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card
構成(2)
チェックマークがオンになっているコンボーネントがこの構成で使用されています(型):
図 ■ Microsoft ネットワーク用クライアント マーマーンのフィークロン・「キャー」 シックスティーンの
(1.2 k=0.0)
1921 NO. 000100 3
伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互揺続されたさまざまな ネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコ ルです。
□ 接続時にタスク バーにアイコンを表示する 🔟
OK キャンセル

コンピュータのネットワーク設定に関する詳しい説明については 「2.2.2 コンピュータの「ネットワーク」設定」(p.17)を参照して ください。

本製品の設定

本製品の設定は、ユーティリティプログラムを使用して変更します。

(1) タスクパーに表示されている、無線アイコンをクリックしま す。

タスクパーに無線アイコンが表示されていない場合は、「ス タート」ボタンをクリックし、メニューから、「プログラム」 「CentreCOM WR211PCM plus」 「 Configuration Utility」を選択すると、無線アイコンが表示されます。

(2) 「設定」タブをクリックし、本製品の設定を行います。

本製品の設定は、「2.2.1 本製品の設定」(p.14)を参照し、「 アクセスポイントを使用してネットワーク接続する場合」または 「本製品を取り付けたコンピュータ同士をネットワーク接続す る場合」の設定を行ってください。

4.1.5 本製品を一時的に使用しないとき

本製品を PC カードスロットに付けたまま、一時的に使用を中止する ときには、デバイスを無効に設定します。使用を再開したい場合に は、有効に設定します。



次の手順を実行するには、「Administrator」または Administrators グループのユーザー名でログオンして いなければなりません。

- タスクバーの「スタート」ボタンをクリックし、メニューから、「設定」「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選択します。
- (2)「ローカルエリア接続」を右クリックし、「無効にする」を選択します。



(3)「ローカルエリア接続」がグレーで表示され、無効であることを示します。



(4) 再度有効にするには、「ローカルエリア接続」を右クリックし、「有効にする」を選択します。



4.2 ホットスワップに関するご注意

Windows 2000 はホットスワップ(活線挿抜)をサポートしています ので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品を PCカードス ロットに挿入したり、取り外したりすることができます。

4.2.1 PC カードの挿入

(1)「WR211PCM plus」の文字が印刷された面を上にして、本 製品をコンピュータの PC カードスロットに挿入し、カチッ と手応えがあるまで押し込んでください。



コンピュータ機種によっては、下に向けて装着するものもあま す。間違って装着した場合、本製品やご使用のコンピュー 気の故障の原因とないます。PCカード装着に関しては、必ず ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

 (2) 本製品を PC カードスロットに挿入すると、Windows 2000 は Plug & Play 機能により本製品を検出します。

4.2.2 PC カードの取り外し

コンピュータの電源がオンの状態で本製品を取り外す場合は 必ず 次の手順で行ってください。



以下の手順を守らなかった場合、エンピュータのハングアップ や、Windows 2000 ファイルの破壊を招く恐れがあります。ま た、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関し てはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

- ネットワークと通信を行っているアプリケーション、例えば Internet Explorer、Netscape Navigator、Telnet やデータ ペースアプリケーションなどをすべて終了してください。 「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、 すべて切断してください。
- (2) タスクバーの無線アイコン(通常デスクトップ右下)を右ク リックします。(ここでは、「Infrastructure」モードで、ア クセスポイントとの通信状態良好のアイコンを例としま す。)



(3)「Config ユーティリティを終了させますか?」と聞かれますので「はい」ボタンをクリックし、ユーティリティープログラムを終了します。



(4) タスクパーの「取り外し」アイコン(通常デスクトップ右下)をクリックします。



(5)「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card を停止します」 が表示されたら、バーをクリックします。

Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card を停止します Y-E Data USB Floppy - ドライブ (A) を停止します	R	般	8	7	2	1	CAPS KANA
	5	\$	(; C	/	0	19	20

(6)「安全に取り外すことができます。」と表示されたら、「OK」 ボタンをクリックします。

ハードウェン	ዖወ፱ዐሳሁ ×
(1)	'Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card' は安全に取り外すことができます。
	1

4.3 アンインストール

本製品をシステムから削除するには、「Uninstaller」を実行します。 「Uninstaller」を実行すると、本製品のドライバーとユーティリティー プログラムの両方が削除されます。



次の手順を実行するには、「Administrator」または Administrators グループのユーザー名でログオンして いなければなりません。

- タスクバーの「スタート」ボタンをクリックし、メニューから、「CentreCOM WR211PCM plus」「Uninstaller」を選択します。
- アンインストール作業の確認ダイアログボックスが表示されたら、「Yes」ボタンをクリックします。



 (3)「Remove CentreCOM WR211PCM plus From Your Computer」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」ボ タンをクリックします。

Remove CentreCOM WR211PCM plus From Your Computer
Each task that is successsfully completed will be listed below
Shutdown the configuration utility.
Stop, deregister, and remove the Network Agent.
Rebind protocols to Ethernet Adapter.
Remove the wireless networking components.
Remove other miscellaneous files and keys.
CentreCOM WR211PCM plus is now ready to be removed from your system. Press OK to allow the InstallShield wizard to remove the remaining files.
OK Cancel

(4)「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」 ボタンをクリックします。



4.4 トラブルシューティング

ここでは、ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、 その対処法について説明します。



以下の手順は本製品をPCカードスロットに取り付けた状態 で行ってください。

4.4.1 無線アイコンが表示されない

エラーが発生し、「Configuration Utility」が起動できない場合は、 無線アイコンが表示されません。

「Configuration Utility」は Administrators グループ以外のユー ザーは使用することができません。「Administrator」または Administrators グループのユーザー名でログインし直してください。

4.4.2 その他

その他のトラブルにつきましては、「2.5 トラブルシューティング」 (p.22)を参照してください。

5 Windows 95

5.1 **インストール**

本製品をシステムにインストールする手順について説明します。イン ストールは、次の2段階の手順で実行してください。

1 本製品をコンピュータに取り付け、ドライバーをインストー ルする

2 ユーティリティープログラムをインストールする



以下にあげる手順は一例です。お客様の環境によっては、 手順などが若干異なることがあります。また、ここでは VersionB(OSR2)以降での手順を例に説明します。VersionB (OSR2)よ前のパージョンをご使用の場合は、手順が異な る場合があります。手順が異なる場合には、それぞれに分 けて記述します。

5.1.1 インストールを始める前に

```
OSのバージョンを確認してください
```

Windows 95 には、いくつかのバージョンが存在します。初めに、 ご使用の Windows 95 のバージョンを確認してください。 バージョンを確認するには、タスクバーの「スタート」ボタンをクリッ クし、「設定」 「コントロールパネル」 「システム」 「情 報」を選択し、「システム」の表示を確認します。



用意するもの

- ・WR211PCM plus カード本体
- ・コンピュータ (Windows 95 インストール済み)
- ・「セットアップユーティリティーディスク」2枚
- ・Windows 95のCD-ROM



本製品を Windows 95 の Version B より前のパージョンでご 使用になる場合は、Microsoft から提供されているアップデー トモジュールが必要になる場合があります。 Microsoft のホー ムページから「ダイヤルアップネッドワーク 1.3 アップグレード」 をダウンロードし、ご使用のコンピューダに本製品を取り付ける 前にインストールしてください。



Windows 95 が、コンピュータ購入時にあらかじめインストール された形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版で ある場合は、Windows 95のバッグアップ CD-ROM が付属し ているかどうかをご確認ください。パッグアップ CD-ROM が 付属していない場合は、安全のため必ずフロッピーディング等 にWindows 95のバックアップを取った後でドライバーのインス トールを開始してください。パックアップの手順については、ご 使用のコンピュータのマニュアルをご覧になるか、コンピュータ メーカーにご確認ください。



ハードディスク内のデータは、必ずフロッピーディスク等にパッ ケアップをとった後で、ドライバーのインストールを開始してくだ さい。特に重要なデータについては、必ずパックアップをとら れることをお勧めします。

おた、いかなる場合でも、データが消失または破損したことに よる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますの で、あらかじめご了承ください。

次に説明する手順の中では「SSID」はデフォルトのままで、「通信 モード」は「「Infrastructure」モードでインストールするものとして 説明します。

5.1.2 本製品のコンピュータへの取り付け

Windows 95 で本製品を使用する場合、<u>VersionB(OSR2)以降</u> と VersionB(OSR2)より前のバージョンでは、ドライバーのイン <u>ストール手順が異なります。</u>次の手順の説明で、ご使用のバージョ ンにあった説明を参照して、インストールを行ってください。

- Version 950、950a の場合 「 Bより前のバージョンをご使用の場合」に進む
- Version B、C の場合
 バージョン B以降をご使用の場合」に進む



本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分(水道の蛇 ロ、ドアノブ等)に触れて体内の静電気を放電してください。 この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に 触れないようにしてください。

バージョン B 以降をご使用の場合

- コンピュータの電源をオンにし、Windows 95を起動してく ださい。
- コンピュータのPCカードスロットに本製品を挿入してください。

(3) Windows 95は本製品がPCカードスロットに挿入されたことを自動的に検出し、「デバイスドライバウィザード」を起動します。「次へ」ボタンをクリックします。

ディバイス ドライハ ウィザート	
	このウィザードで、次のインストーができます。 Alied Telesis KK-WR211PCM plus 毎年のリシリバをロールトドライン、キャトワーあよびスクルトーキャトから検 出します。 ロッジャインコンド集のフロッビー・ディスクまたは3 cD-ROM がある場合 は詳入してに交換。 夏新されたいラインドを自動検知が必要がます。 した へ をグッジナランと自動検知が必要がます。
	< 戻る(()) ##2/t#

 (4)「セットアップユーティリティーディスク 1of2」をフロッ ビーディスクドライブに挿入し、「場所の指定」をクリック します。



(5)「場所の指定」ダイアログが表示されたら、「場所」に「A:¥」 と入力し、「OK」ボタンをクリックします(ここではフロッ ビーディスクドライブを「A:」、AT互換機を仮定します)。



(6)「このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。」 と表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。



(7)「CentreCOM WR211PCM plusのセットアップユーティリ ティーディスクを挿入してください。」と表示されたら、 「セットアップユーティリティーディスク 1of2」がフロッ ビーディスクドライブに挿入されていることを確認し、 「OK」ボタンをクリックします。

ディスクの)	持入 🛛 🛛 🕅
8	'CentreCOM WR211FCM plus CD or Setup Unitry Diek 1' 54/k/0/HL VZ9/K37838 AUT [OK] 81#UT (CEAL 5

また、「cw10.sys が見つかりませんでした。」と表示され たら、「ファイルのコピー元」に、「セットアップユーティ リティーディスク 1of2」が挿入されているドライブ名を入 力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

ファイルの	1K	×
	CentreCOM WR211PCM plus CD or Setup Utili Disk 1 上のファイル ow10.sys が見つかりません た。	ок
	CentreCOM WR211PCM plus CD or Setup Utility Disk 1 を選択したドライク1こ入れて、[OK] を押してく ださしい	46200
		スキッフ*(S)
	ファイルのコビー元(2)	■¥\$B(<u>D</u>)
	A# 🗸	参照(<u>B</u>)

また、次のようなダイアログが表示され、Windows 95 の CD-ROM を要求された場合は、「OK」ボタンをクリックし ます。

ディスクの	蒋入 🛛
8	Windows 95 CD-ROM ういいの付いたディスクを挿入して [OK] を押してください。
	C OK

次のダイアログが表示された場合は、「ファイルのコピー元」 に「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を入力してくださ い。ここでは Windows 95 がプリインストール版である場 合を仮定します(ハードディスクドライブを「C:」AT 互換 機を仮定します)。

ファイルの	1Ľ* X
	Windows 95 CD-ROM 上のファイル netapidll が見 OK い つかりませんでした。
	Windows 95 CD-ROM を選択したドライアミスカ キャール て、[OK] を押してください。
0	7ァイルのコビー元②: 詳細②
	C#WINDOWS¥OPTIONS¥CABS



ご使用のコンピュータがプリインストール版で ない場合は、「ファイルのコピー元」として 「D:¥WIN95」を入力してください(ここではCD-ROMドライブを「D:」、AT互換機を仮定します)。 (8) フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「はい」 ボタンをクリックし、コンピュータを再起動します。

システム読	定の変更
?	新しいハートや37の設定を完了するには、シビュータを再起動してください。 今すぐ再起動しますか?

B より前のバージョンをご使用の場合



本製品を Windows 95 の Version B より前のバージョンでご 使用になる場合は、Microsoft から提供されているアップデー トモジュールが必要になる場合があります。 Microsoft のホー ムページから「ダイヤルアップネットワーク 1.3 アップグレード」 をダウンロードし、ご使用のコンピュータに本製品を取り付ける 前にインストールしてください。

- コンピュータの電源をオンにし、Windows 95 を起動してく ださい。
- コンピュータのPCカードスロットに本製品を挿入してください。
- (3) Windows 95は本製品がPCカードスロットに挿入されたことを自動的に検出し、「新しいハードウェア」ウィザードを起動します。「ハードウェアの製造元が提供するドライバ」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。

新しいハートウェア ロス
Allied Telesis K.K-WR211PCM plus
新しいハートウェア用にインストールするトライハを選択してください。
O West Control of Man
○ バードウェアの製造元が提供するドライバ(m)
0 F50 (80/x1-10-bit v0)
OK ++v/til -1/17'(H)

(4)「セットアップユーティリティーディスク 1of2」をフロッ ビーディスクドライブに挿入し、「配布ファイルのコピー元」 に「A:¥」と入力し「OK」ボタンをクリックします(ここで はフロッピーディスクドライブを「A:」、AT 互換機を仮定し ます)。

709Ľ*-	ティスクからインストール		×
_		C	<u> </u>
	デポイスの製造元が配布するイストール を指定したドラグアに入れて、[OK] してください。	ディスク を押	117/06 参照(0)
	配布ファイルのコビー元: ム:¥	-	

また、次のようなダイアログが表示され、Windows 95 の CD-ROM を要求された場合は、「OK」ボタンをクリックし ます。

ディスクの	持入 🛛 🖂
8	'Windows 95 CD-ROM うべルの付いたディスクを挿入して [OK] を押してください。
	<u></u>

次のダイアログが表示された場合は、「ファイルのコピー元」 に「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を入力してくださ い。ここでは Windows 95 がプリインストール版である場 合を仮定します(ハードディスクドライブを「C:」AT 互換 機を仮定します)。

77110	1L*	×
_	Windows 95 CD-ROM 上のファイル netapidll が見 つかりませんでした。	ок 🕅
	Windows 95 CD-ROM を選択したドライフリこ入れ て、[OK] を押してください。	₹₩ 1 ₩
6	7ァイルのまー元©:	・キッフ [*] (<u>S</u>) 詳細(<u>D</u>)



ご使用のコンピュータがプリインストール版で ない場合は、「ファイルのコピー元」として 「D:¥WIN95」を入力してください(ここではCD-ROMドライブを「D:」、AT互換機を仮定します)。

(5) フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「はい」 ボタンをクリックし、コンピュータを再起動します。

システム設計	定の変更
?	新しいハートウェアの設定を完了するには、ことビューがを再起動してください。
~	今すぐ再起動しますか?
	IIII NO I UNIZO

- 5.1.3 ユーティリティープログラムのインス トール
- 「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を 選択します。
- (2)「セットアップユーティリティーディスク 1of2」をフロッ ビーディスクドライプに挿入し、「名前」に「A:¥Setup.exe」 と入力し、「OK」ボタンをクリックします(ここではフロッ ビーディスクドライプを「A:」AT 互換機を仮定します)。

ファイル名を指	定して実行 ? 🛛
5	実行したしいフリケーション名、または開きたしいればやドキュント ネガ入力してください。
名前②:	A#Settpexe 🗸
	OK

(3)「Setup」プログラムを実行する前に、他のプログラムを終 了し、「次へ>」ボタンをクリックします。



(4)「ソフトウェア使用権許諾契約書」の内容を確認し、「はい」 ボタンをクリックします。

ソフトウェア使用許諾契約 🛛 🛛
以下の使用容器契約をお読み下さし、契約の残りの部分を読むには、 Page Down そを押して下さし。
野客様がこの使用権扞括数約書に同意される場合は「はい」を、同意できない▲ 場合は「いいえ」を押してください。お客様が「はい」ボタンをクリックされ▲ た場合、契約書に同意して契約が成立したものといたします。
ソフトウェア使用権許諾契約書
アライドテレシス株式会社は、本契約書とともに提供するソフトウェア製品を 、下記条項に基づき非譲渡性の非独占的権利を許諾します。
1. 定義
本ソフトウェアとは、以下の2つを言います。 ・本ブログラム
前述の使用時語認約のすべての条項に同意しますか? [いいえ]お切を選択する と、もがっ?は中止されます。CentraCOM WR21FOM plus を行ぶ出するには、この 契約に同意いただく必要があります。
〈 戻る(り 」はい(2 人) いいえ(8)

(5)「SSID」を設定し、「次ヘ」ボタンをクリックします。 アクセスポイントを使用して通信を行う場合は、アクセスポ イントと同じSSIDを設定してください。また、SSIDは、セ キュリティ確保のためにデフォルトの設定を変更して、独自 のSSIDを設定してください。

デフォルトは、「CentreCOM WR211PCM」です。



(6)「通信モード」を設定し、「次へ」ボタンをクリックします。 アクセスポイントを使用して通信を行う場合は、 「Infrastructure」を、無線LANカード同士で通信を行う場 合は、「Ad Hoc」に設定します。

通信モードの選択	×
	本製品が運用する通信モードをワシックして下さい。
	- 説明 - 初明 - パロう- 5575e(Infrastructure) モードでは全ての筆絵論信
23	はかせず ひんを経由して行われます。アルは ひんを利用 すると、無線LAMP5パントは有線LAN上のコピュータと通信 することができます。アウルボ ひんが利用可能ならば、 このモト を達択して下さい。
	〈 戻っ ⑥ \ 次へ ⑭ > ト _ キャンセル

(7) ユーティリティープログラムのインストール先を指定します。表示されているインストール先を変更したい場合は、「参照…」ボタンをクリックし、変更先を指定します。インストール先が決まったら、「次へ>」ボタンをクリックします。

(ンストール先の選択	×
	しがっかしたのうれかで DentreCOM W2211POM plus を クルドームます。 このカルゲームククルーはさたへりすうかをかみします。 他のフルゲームクルーする場合は(参照)がりをかみしうれか。 を選択していたのでは、W22 DentreCOM W22 に行ったしたい場合は [キンド」がのたかったします。
20	- (以-場先の)74約* - (火そCentroCOM VR211POM plus 参照(()) < 戻ら(() (()次次((()))), キャンは

(8) ファイルのコピーが始まります。次のダイアログが表示されたら、フロッピーディスクを「セットアップユーティリティーディスク 2of2」に交換し、「OK」ボタンをクリックします。

次のディスウの)挿入 🛛 🖂
F	次のディスク(ディスク 2)を挿入して下さい。このディスク ファイルが絶のドライフなどにある場合は、そのバスをすべ て入力するか、または[参照]ボタンをクレッレしてバスを選 択して下さい。
Λ° λ: 2023501112	参照(8)
	ок N ++>tb)

(9) ユーティリティープログラムを使用する前に、コンピュータ を再起動する必要があります。「はい、直ちにコンピュータ を再起動します。」を選択し、<u>フロッピーディスクドライブ からディスクを抜き、</u>「完了」ボタンをクリックしてコン ビュータを再起動します。



5.1.4 インストールの確認とネットワークおよ び本製品の設定

本製品のインストールが正常に行われていることを確認し、さらに、 必要な設定を行います。

デバイスマネージャによるインストールの 確認

- タスクバーの「スタート」ボタンをクリックし、メニューから、「設定」「コントロールパネル」を選択します。「コントロールパネル」の「システム」アイコンをダブルクリックします。
- (2)「デバイスマネージャ」タブをクリックします。インストー ルが正常に行われていれば、「ネットワークアダプタ」の下 に「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」が表示さ れます。



本製品のアイコンに「×」「?」「!」などのマークが付いて いたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下 ではなく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下 にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、 「5.4 トラブルシューティング」(p.48)をご覧ください。

 (3)「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」を選択(反転 表示)し、「プロパティ」ボタンをクリックします。「情報」 タブで「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作 しています。」と表示されていることをご確認ください。

Allied Telesis WR211PCM plus LAN Cardの7*07*74	? ×
情報) ライパ リソース	
Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card	
デバイスの種類: ネットワークアダフタ	
製造元: Allied Telesis	I
ハートウェアのハージョン:「情報版なし	
このデガイズは正常に動作しています。	
デバイスの使用	
□ このハートウェア環境で使用不可にする	
▼ すべてのハートウェア環境で使用する	
	1
	80.00
	TRUCH

(4) 本製品が使用する I/O の範囲(I/O アドレス)割り込み要求(IRQ)などは、Windows 95によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。

Allied Telesis WR21	1PCM plus LAN Cardのプロバティ	? ×
情報 ドラパ リン-	ス	
Allied Te	lesis WR211PCM plus LAN Card	
リソースの設定(E):		
リソースの種類	設定	
1/0 ホートアトルス	01C0 - 01FF	
IRQ	06	
設定の登録名(B)	基本設定 0000	*
設定の変更の).	
競合するデバイス:		
競合なし		<u>_</u>
		E-1-bell
		467.61

PC カード (PCMCIA) による確認

「コントロールパネル」の「PC カード(PCMCIA)」アイコンをダ ブルクリックします。「ソケットの状態」タブを選択し、該当するソ ケットに「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」が表示さ れていることを確認します。

PC カート* (PCMCIA)のブロバティ ? X ソワットの状態] 設定
● PC カート活取りはずすには、一覧から遅んで〔終了〕を 別ックル・アンゲオト、(2)
PAllied Telesis WF211PCM plus LAN Card - 27511
統了②
☑ タスカハニートにコントロールを表示する(h)☑ 終了前にカードが取りはずされたら、警告を表示する(b)
OK キャンセル 更新(点)

ネットワークの設定

本製品のインストールが完了したら、本製品を取り付けたコンピュータのネットワーク環境の設定を行います。ここでは、インターネットの参照に必要となる TCP/IP の設定について説明します。

- (1)「スタート」「設定」「コントロールパネル」を選択します。
- (2) 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
- (3)「ネットワーク設定」タブの「現在のネットワーク構成」に、 「TCP/IP」が表示されていることを確認します。

919-5 ? ×
ネイリークンが家庭 (ユーサー(細樹) アクセス相の音響(現在のネイリーク構成的) (例 Microsoft ネトリーク ウラ(ア)/ (例 Miking a Physical Res (PA) Physical All Card Physical Television WR211(POM phys. LAN Card Physical Physical Physic
Microsoft キットワーク クライアント ファイルとフソンタの共有(E)_
- 1109
ок + +усь

(4) 「TCP/IP」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

\$7F7-5 ? X
ネットワークの設定 2ーザー情報 アクセス権の管理
現在のネットワーク構成(型):
思 Microsoft ネットワーク クライアント 風 NetWare ネットワーク クライアント
B Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card
≌ IPX/SPX 互換ブロトコル
MAREEU
CRE TOP/IP
)追加(4)
優先的にログわする
Microsoft ネットワーク クライアント
ファイルとフツンタの共有(E)
OK 40/21

(5) パラメータを設定します。

パインド 詳細設定 NetBN IP 7ドレスは DHOP サー/ リ当てられます。ネットワ し場合は、ネットワーク管理 はアトレスを入力してくだ。	OS DNS 設 パーによって自 一切が自動的に 掲載がアトルスを さい。	定 ケー 動的にで I IP アト「 割り当て	ウェイ ¥ のコンピュ スを割り ます。こ	nns 設定 一別に割 当てな この場合	IP 7FUZ [
⊙ iP 7ドリスを自動的 □○ IP 7ドリスを指定(S)][取得@] 3) ———				
1P 7F1/202: サンネット マスクロン			•		

コンピュータのネットワーク設定に関する詳しい説明については 「2.2.2 コンピュータの「ネットワーク」設定」(p.17)を参照して ください。

本製品の設定

本製品の設定は、ユーティリティープログラムを使用して変更しま す。

- タスクバーに表示されている無線アイコンをクリックします。
 タスクバーに無線アイコンが表示されていない場合は、「スタート」ボタンをクリックし、メニューから、「プログラム」 「CentreCOM WR211PCM plus」」「Configuration Utility」を選択すると、無線アイコンが表示されます。
- (2) 「設定」タブをクリックし、本製品の設定を行います。

本製品の設定は、「2.2.1 本製品の設定」(p.14)を参照し、「 アクセスポイントを使用してネットワーク接続する場合」または 「本製品を取り付けたコンピュータ同士をネットワーク接続す る場合」の設定を行ってください。

5.2 本製品の取り外しの注意



本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分(水道の蛇 ロ、ドアノブ等)に触れて体内の静電気を放電してください。 この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に 触れないようにしてください。 本製品の内部には、最新のIC類が使用されています。ご

使用中の静電気による故障対策はされていますが、他の機器との接続時などには、特に注意して下さい。お客様の不注意により生じた静電気等による故障等につきましては、保証の対象外となますのであらかじめご了承ください。

Windows 95 はホットスワップ(活線挿抜)をサポートしているので、 コンピュータの電源をオンにした状態で本製品を PC カードスロット から取り外すことができます。ただし、コンピュータの電源がオンの 状態で本製品を取り外す場合は必ず以下の手順で行ってください。



以下の手順を守らなかった場合、コンピュータのハングアップ や、Windows 95 ファイルの破壊を招く恐れがあます。また、 以下の手順をお守りいただかないて起こった障害に関して はユーザーサポートの対象外とさせていたたきます。

- ネットワークと通信を行っているアプリケーション、例えば Internet Explorer、Netscape Navigator、Telnet やデータ ベースアプリケーションなどをすべて終了してください。 「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、 すべて切断してください。
- (2) タスクバーの PC カードアイコン(通常デスクトップ右下) をクリックし、「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card を停止します」が表示されたら、バーをクリックします。

Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card の中止 、 🌭 💻 🔍 16.52

(3)「安全に取り外すことができます。」と表示されたら、「OK」 ボタンをクリックします。



(4) コンピュータの PC カード取り外しボタンを押してください。本製品は、PC カードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。

5.3 アンインストール

本製品をシステムから削除するには、「Uninstaller」を実行します。 「Uninstaller」を実行すると、本製品のドライバーとユーティリティー プログラムの両方が削除されます。

「Uninstaller」を実行する

(1)「スタート」メニューから「プログラム」 「CentreCOM WR211PCM plus」 「Uninstaller」を選択します。



(2) 次のダイアログが表示されたら、「Yes」ボタンをクリック します。



(3) 「OK」ボタンをクリックします。



また、この後に、「ファイル削除の確認」のダイアログが表 示された場合は、「はい」ボタンをクリックします。

(4)「OK」ボタンをクリックします。Uninstaller プログラムは終 了します。



本製品の取り外しの確認をする



本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分(水道の蛇 ロ、ドアノブ等)に触れて体内の静電気を放電してください。 この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に 触れないようにしてください。

 タスクバーにPCカードアイコンが表示されているかどうか を確認します。PCカードアイコンが表示されていなければ、 手順(6)に進みます。 タスクバーに PC カードアイコンが表示されていた場合は、 アイコンをダブルクリックします。



(3) 本製品が挿入されているソケットを選択し、「終了」ボタン をクリックします。

PC カート* (PC ^{ソウットの} 状態	MCIA)のプロバティ 設定	? ×
	PC カードを取りはずすには、一覧から違んで[終了 外ッしてください。(T)	7]*
	1997 2	
₩7§		
 ✓ タスクパー ✓ 終了前 	・上にコントロールを表示する(日) にカートが取りはずされたら、警告を表示する(D)	
	OK キャンセル 및	[新(4)

(4) 「OK」ボタンをクリックします。

- ንንታ	1
٩	このデバイスは安全に取りはずせます。

(5) 本製品が挿入されているソケットが「空」と表示されている ことを確認し、「OK」ボタンをクリックします。

PC カード (PCMCIA)のブロバティ 2 区 ゾウットの状態 設定
PC カードを取りはずすには、一覧から違んで「終了」を 別かしてください。①
● 199 - 199 A 11 ● 139 - 199 A 2
第7일
☑ 終了前── トが取りはずされたら、警告を表示する(2)
OK それンセル 三新(点)

(6) コンピュータの PC カード取り外しボタンを押してください。本製品は、PC カードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。

5.4 トラブルシューティング

トラブルの対処法につきましては、「2.5トラブルシューティング」 (p.22)を参照してください。

A 付録

A.1 製品仕様

製品本体仕様

無線部					
規格	国際規格 IEEE 802.11、802.11b 国内規格 RCR STD-33、 ARIB STD-T66				
周波数帯域	2.4GHz				
変復調方式	DS-SS 方式				
情報変調方式	CCK、DQPSK、DBPSK				
アクセス制御方式	CSMA/CA				
データ転送速度	11/5.5/2/1 Mbps 自動切り替え				
サービスエリア	屋外 150m、屋内 50m(11Mbps 通信 時は、屋外 60m、屋内 30m)				
スクランブル処理	WEP (RC4)				
空中線電力	2mW/MHz				
アンテナ形式	誘電体アンテナとスロットアンテナ				
アンテナダイバー シティー	空間ダイバーシティー				
電源部					
定格入力電圧	DC +5V				
最大消費電力	2.0W				
平均消費電流	送信時 320mA(最大 410mA) 受信時 240mA(最大 320mA)				
発熱量	1.37kcal/h(最大1.76kcal/h)				
環境条件					
動作時温度	0 ~ 55				
動作時湿度	80% 以下(ただし結露なきこと)				
保管時温度	-10 ~ 60				
保管時湿度	80% 以下(ただし結露なきこと)				
外形寸法					
	54.0(W) × 121.7(L) × 5.0(T) (アンテナ部の高さ 8.4)mm PCCard TYPEII Extended				
重量					
	約 50g				
取得承認	取得承認				
EMI 規格	VCCI クラス B				

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準 に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用すること を目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して 使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

外部アンテナ (WR211ANT-01) 仕様

空中線型式	ホイップ型空中線
周波数	2400 ~ 2500MHz
入力インピーダンス	50
利得	絶対利得 4.0dB(ケーブル損失を含ま ず)
最大入力電力	2W
接線	専用
全長	191mm ± 4mm(ケーブル含まず)
ケーブル長	2m
重量	約 30g(同軸ケーブルを含む)

A.2 MAC アドレス

イーサネットに接続される機器は、MACアドレスと呼ばれるアドレス を使って通信を行います。MACアドレスは機器(アダプター)のひ とつひとつに割り当てられた唯一無二の(unique、ユニークな)ア ドレスです。

MAC アドレスは 下記の 6 バイト(48ビット)によって構成されて おり、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更する ことはできません。本製品の MAC アドレスは、製品に貼付されてい る MAC アドレスラベルに記入されています(表記は全て16進数)。

00	90	99	<u>xx</u>	XX	XX
ベンダーID				通し番号	

・ベンダー ID LAN ベンダー(LAN 用機器を製造しているメーカー)が IEEE に申請することにより得られる識別番号です。

 通し番号 この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたもの で、本製品は、「43 20 00」から始まる6桁の数値となって います。この通し番号と本製品の「シリアル番号ラベル」の 番号に関連はありません。



MAC アドレス(マックアドレスと読みます)は、物理アドレス、 ネットワーケアドレス、イーサネットアドレスなどと呼ばれることも あります。また、MAC アドレスは、TCP/IP の環境で使用さ れるIPアドレスに関係がありますが、これらは別々のものです。

B 用語集

B.1 本製品に関する用語

AdHoc

「AdHoc」モードは、本製品を取り付けたコンピュータ同士でネット ワークを構成する場合に使用します。コンピュータ同士は、ピアツー ピアで接続され、お互いのリソースを共有することができます。

Infrastructure

「Infrastructure」モードはアクセスポイントを使用し、有線ネット ワークと無線ネットワークを統合して1つのネットワークとして構成 する場合に使用します。

SSID

「SSID」(Service Set IDentifier)は無線LANネットワークを構成 するコンピュータ同士を識別する名前です。同じネットワークに属す るコンピュータまたはアクセスポイントは 同じ SSID を設定しなけ ればなりません。「SSID」は 半角英数文字 32 文字以内(大文 字、小文字も区別される)で設定します。(「SSID」の設定は、 「Infrastructure」モードの場合に有効です。)

通信方式

デフォルトでは、IEEE802.11 の周波数変換方式の RFC1042 モー ドが設定されています。古い無線 LANのシステムと接続する場合は、 ドロップダウンリストから他の通信方式を選択します。

送信速度

送信速度は 無線 LAN ネットワークを構成するネットワーク機器が 対応している速度から選択することができます。帯域を有効に利用 し、最適な速度で通信を実行するには「Fully Automatic (送信速 度自動設定)」に設定しておきます。「Fully Automatic」に設定す ると、送信速度はネットワークを構成するネットワーク機器に合わせ て自動的に調整され、最適な速度で通信できるようになります。

暗号

本製品は 無線ネットワーク上で交換されるデータを保護するため に、暗号を使用することができます。WEP(Wired Equivalent Privacy)という暗号化方式を使用しています。WEPでは 40ビッ トの組み合わせからなるキーを使用し ネットワークへのアクセスを コントロールします。また、データの送信ごとに暗号化することによっ て、データの安全性を確保します。送信されたデータを解読するに は、無線ネットワーク上のコンピュータにも、同じキーを設定してお かなければなりません。

チャンネル

無線 LAN 通信で使用される、IEEE802.11 のデフォルトのチャンネ ルを設定します。

ローミング機能

複数のアクセスポイントがある場合、電波状態により、接続する アクセスポイントを自動的に切り替える機能です。アクセスポイ ント間を移動しても、再接続などの必要はありません。

B.2 ネットワーク関連の用語

ピアツーピア接続

コンピュータ同士が 1 対 1 で対等に行う通信です。サーバーとク ライアントのように機能を分化せず、お互いの機能を利用して通信を 行い、ファイルやプリンタなどの資源を共有することができます。

Microsoft ネットワーク クライアント

Windows 98/95 などのサーバーサービスを利用するためのクライ アントソフトウェアです。通常、プロトコルには「NetBEUI」が使用 されます。

NetBEUI プロトコル

小中規模のネットワークトランスポートプロトコルです。NetBEUIは OSI参照モデルのトランスポート層およびネットワーク層プロトコルに 相当します。これを、NetBIOSと統合することにより、ワークグルー プ LAN 環境で効率的な通信システムが実現されます。Windows 98/95 でサポートされています。

TCP/IP プロトコル

インターネットで使用されているプロトコルで OSI 参照モデルのトラ ンスポート層およびネットワーク層プロトコルに相当します。TCP/IP プロトコルを使用すると 異なるプラットフォームのコンピュータ同士 でも通信することができます。

無線 LAN

配線を必要としない LAN (Local Area Network)のことです。1 つの建物内や敷地内など、比較的狭い範囲で、電波や赤外線 レー ザーを使用してネットワークを構築します。

アクセスポイント

無線LANから有線LANのネットワーク上のコンピュータに通信する ための装置です。

C 保証

本製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお 読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を 記入して、当社「お客様インフォメーション登録係」までご返送くだ さい。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない 場合、障害発生時のユーザーサポートや修理などを受けられません。

保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生 命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他 の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊 社はその責をいっさい負わないこととします。

D ユーザーサポート

障害回避などの技術的なサポートを受ける場合は、巻末の「調査依 頼書」をプリントアウトしたものに必要事項を記入し、下記にファク スしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは選けて ください。ファクスによって詳細な情報を送付していただく方が、電 話による問い合わせより早く問題を解決することができます。 記入内容の詳細については「D.1 調査依頼書のご記入にあたって」 をご覧ください。なお、都合によりご連絡が遅れることもございます ので、予めご了承ください。

サポート連絡先

- アライドテレシス株式会社 サポートセンター
- Tel: 000 0120-860-772 月~金 (祝・祭日を除く)9:00-12:00 13:00-18:00 土 (祝・祭日を除く)10:00-17:00
- Fax: 00 0120-860-662 年中無休 24 時間受け付け

D.1 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を 突き止めるためにご記入いだだくものです。障害を解決するために も以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で 書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

ハードウェアとソフトウェア

 ご使用製品のシリアル番号、製品リビジョン 本製品に貼られたシリアル番号シールのシリアル番号 (S/ N)、製品リビジョンコード (Rev.)を調査依頼書に記入して ください。

(何) S/N 000770000002346 Rev 1A

ご使用の当社のソフトウェア
 当社製ソフトウェアをご使用になっている場合は、そのソフ
 トウェアの種類、パージョン (Ver.)、シリアル番号 (S/N)

を記入してください。それらは、フロッピーディスクのラベル上に記入されています。

- ご使用のコンピュータの機種
 ご使用になっているコンピュータのメーカー名、機種名をご 記入ください。
- 4.ご使用の周辺機器 CD-ROM ドライブ、サウンドボード、SCSIボードなどの他 社製拡張アダプターや、メモリマネージャなどのユーティリ ティをご使用の場合はそれら全てについてご記入ください。
- 5. ご使用のサーバー、UNIX システムの機種、OS など 接続しているサーバーの機種とその環境を可能な限りご記 入ください。(例えば、NetWare 4.11J、WindowsNT Version 4.0 Server、FreeBSD 2.2.5 など)

お問い合わせ内容

- ・どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に(再現できるように)記入してください。
- 障害などが発生する場合には、本製品と併用されているユー ティリティーや、アプリケーションの処理内容もご記入くだ さい。
- AUTOEXEC.BAT、CONFIG.SYS、バッチファイルに関しては、そのファイル内容のプリントアウトを必ず添付してください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトなどを添付してください。
- Windows95/98/2000/Me の場合、お手数ですが、可能な 限リシステムレポート(OSが自動生成するシステムに関す るレポート、名称はOSによって異なります)を出力し、添 付いただきますようお願いいたします。

接続の構成図

ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク
 機器がわかる簡単な図を添付してください。

D.2 システムレポートの出力方法

システムレポートは、Windows95/98/2000/Me が自動生成するシ ステムに関するレポート(名称はOSによって異なります)で、以下 の手順で印刷することができます。

- コントロールパネルから「システム」を起動し、「デバイス マネージャ」タブを表示します。
- (2) 「印刷 (N)…」ボタンをクリックします。

(3)「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要(A)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

システム リソース	レポート - ページ: 1	
•••••	******* システムの概要 *************	
Windows /	√-ジョン: 4.00.950	
コンピュータ名	: 不明	
CPU の種	類: Pentium	
システム パ スク	D種類: ISA	
BIOS 名:	Phoenix	
BIOS の日	付: 01/08/97	
BIOS	-ŷ j): Phoenix NoteBIOS Version 4.05	
コンピュータの	·種類: IBM PC/AT	
数值17 吨	ሃታ : Not Present	
登録オーナー	: X X X X X X	
豆球云杠	: * * * * * *	
•••••	IRQの概要	
IRQの使用	∄:	
00 - YZF	L917-	
01 - 106	日本語 (A01) キーボード (Ctrl+英数)	
02 - 7° 🛛	グラミング可能な割り込みコントローラ	
03 - 通信	ll ポ−ト(COM2)	
04 - 通信	詰ポート (COM1)	
05 - ES1	878 Plug and Play AutoDrive	
06 - 292	9 -ト フロッピ - デ ィスク コントローラ	
07 - 7 9	ンタホート (LPT1)	
08 - 972	6 CMOS/07/ 916 7097	
10 - Lex	as Instruments PCI-1130 CardBus Controller	
10 - PCI	A771979 HI IKU ##7 =	/
	-44 IKU 1007 =	

^V 図 D.2.0.1 システムレポートの出力例(Windows95の 場合)

D.3 最新ドライバーソフトウェアの 入手方法

当社は、改良などのために予告な、本製品のドライバーのバージョ ンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。最新のドライ バーソフトウェアは、次の2つの方法で入手することができます。

ホームページからの入手

- Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator などの Web ブラウザを使用して、アライドテレシスのホームペー ジ「http://www.allied-telesis.co.jp/」にアクセスします。
- (2) 「サポート」をクリックしてください。
- (3)「LAN アダプタードライバ」の「ダウンロード一覧リスト」 をクリックしてください。
- (4) LAN アダプターの一覧から選択してください。

フロッピーディスクでの入手

当社のカスタマー・マーケティング(Tel: 0120-860-442、9:00 ~ 17:30 / 月~金)までお問い合わせください。実費にて最新ドライ バーのフロッピーディスクをご提供いたします。

E ご注意

- ・本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、 全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。ア ライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を複製 することを禁じます。
- アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告な
 く変更することがありますのでご了承ください。
- ・本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2000 アライドテレシス株式会社

F 商標について

CentreCOM CentreNET はアライドテレシス株式会社の登録商標です。

Windows、Windows NTは 米国 Microsoft Corporation の米国 及びその他の国における登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称 は各メーカーの商標または登録商標です。

G マニュアルバージョン

2000 年12 月 Rev.A 初版

memo

memo

調查依頼書(WR211PCM plus 1/2)

調 	1 plus 1/2)	年	月	日
一般事項				
1. 御社名: 部署名: ご連絡先住所:〒	ご担当者:			
TEL: ()	FAX: ()			
2. 購入先: 購入先担当者:	購入年月日: 連絡先(TEL): ()			
ハードウェアとソフトウェア				
 ご使用のカードのシリアル番号、製品リ WR211PCM plus ご使用の当社のソフトウェア 本製品のセットアップユーティリティ CentreNET AT-TCP/32 Ver. その他() Ver. その他() Ver. ご使用のコンピュータについて メーカ名: OS: 	Jビジョン NRev r ーディスクVer.pl. pl. S/N pl. S/N pl. S/N pl. S/N pl. S/N	_		
 ご使用の周辺機器について CD-ROM ドライブ: サウンドボード: SCSI ボード: その他: 5. ご使用のサーバー、UNIX システムの 	サーヒスバック:			

6. トラブルの発生時期 セットアップ中に起こっている障害 セットアップ後、運用中に起こっている障害

7. システムレポート

添付あり

添付なし

お問い合わせ内容

接続の構成図

簡単で結構ですからご記入をお願いします。